

中岳



Top contents

平成25年度 一般社団法人 熊本市歯科医師会定時総会	2
平成25年度 一般社団法人 熊本市歯科医師会審議委員会	5
新執行部紹介	7
歯の祭典2013	18



CONTENTS

巻頭言	宮本 格尚会長	1
平成25年度 一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会		2
平成25年度 一般社団法人熊本市歯科医師会審議委員会		5
新執行部紹介		7
医歯連携セミナー		12
平成25年度第1回国立病院機構熊本医療センター・ 熊本市歯科医師会連絡協議会		14
平成25年度 熊本市歯科医師会第1回学術講演会		16
歯の祭典 2013		18
開業歯科医師が必要な放射線管理知識(1)		20
日本歯科医療管理学会九州支部研修セミナー		23
第34回熊本市学校保健合同研修会		25
合同委員会		26
第37回熊本市歯科医師会親睦大会		28
スタッフレベルアップセミナー		30
平成25年度 歯磨き巡回指導(前期)報告		32
スタディー		
広汎型重度慢性歯周炎患者に対する一症例	入佐弘介	34
支部会だより 平成25年度北部3支部総会		38
委員会紹介(社会保険・地域保健)		39
新入会員紹介		45
ゴルフ川柳		47
スポーツの広場		48
会務報告		49
編集後記		

表紙のことば

二ノ丸公園より月夜の熊本城を臨む

本田 亘

巻 頭 言

「2年間よろしくお願いいたします」



宮本 格尚 会長

6月29日に一般社団法人熊本市歯科医師会としての初めての選挙が行われ、理事候補13名、監事候補2名が無事当選し、直後に行われた理事会にて理事の互選により会長職を拝命いたしました宮本格尚です。

法人法の改正により、対抗馬がいなくても選挙はしないといけないという決まりの中で、果たして過半数の得票が得られるかどうか、かなり冷や冷やしましたが、皆様のご協力により無事に選挙を終えることが出来ました。ありがとうございました。

清村前会長をはじめ、前執行部の先生方から会長の話をいただいた時は、正直、寝耳に水、青天の霹靂という感じでかなり悩みました。私は医療管理委員会の理事を2期4年務めただけで、常務会にも参加したことがありませんでしたので、知識や経験不足はどうしても否めません。しかし、色々考えた末、「頼まれごとは試されごと」と思い、お引き受けすることになりました。やるからには粉骨砕身で会務に精一杯取り組ませていただきたいと思います。

幸いにも、前執行部より経験豊富な多くの先生方に残っていただきまして、優秀な新しい理事にも加わっていただきましたので、お力添えをいただきながら、会務に滞りの出ないよう粛々と進めていきたいと思っています。

会務を引き継ぐにあたり、清村執行部より二つの大きな宿題をいただいております。

一つはフッ素洗口事業の推進です。これに関しましては、何度か進捗状況をお伝えしてきたと思います。現在、この事業に対しましては市の予算も付き、各区に臨時の衛生士も増やして体制は整いつつあるのですが、肝心の学校現場の協力がなかなか得られず、やっとモデル校が数校できた所です（西区、南区には残念ながらまだありません）。少しずつ前には進んでいるのですが、一方で県の方では蒲島知事の肝いりで、全県下一斉にフッ素洗口を行う事が決まったそうです。ただ、熊本市が政令指定都市に移行した関係で、その中に熊本市は残念ながら含まれておりません。熊本市だけが取り残されるような事が無いように、我々も関係各位と情報を密に交換しながら、積極的に働きかけていかないとはいけません。

もう一つは、会費の均等割り一本化です。現在は会費を均等割り＋収入割でお願いしておりますが、収入割の部分がいくつかの問題点を含んでおります。一つは、収入割の部分は保険点数をベースに計算しておりますが、歯科の場合は保険収入と自費収入の割合が各医院で違いますので、どうしても不公平感が出てしまいます。また、個人情報保護が厳しくなる中で、レセプトの情報を今後もずっと提示していただけるという保証は全くありません。ある日突然、教えられないと言われた時に、慌てて対策を行わなければならない可能性があります。さらに、今後終身会員が増えていく中で、先を見越して必要な会務を行うための安定した財源を得るためにも、どうしても会費の均等割り一本化を行わなければいけません。ちなみに九州8市の中で均等割りにしていないのは熊本を含めて2市だけです。現在、様々なシミュレーションを行い、適正な額を計算しております。予定としては何とか今年度中に承認をいただき、平成27年4月から施行できればと思っております。これに関しましては、各支部単位で説明会等を企画いたしますので、皆様の忌憚のないご意見をいただければと思っております。

以上の二つの宿題の他にもやりたいことがたくさんあります。

私は歯科が大好きです。歯科医師になって本当に良かったと思っております。歯科の可能性や潜在力は、まだまだたくさんあります。それをいかに上手にアピールして行くかが、歯科の底上げにつながると思いますので、歯科医師会を通じて微力ながら頑張りたいと思います。2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

『新執行部決定!!』

平成25年度 一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会



次年度からは会費を一本化した運営をとって頂きたい

6月29日(土) 午後3時30分より熊本県歯科医師会館3階県研修室にて一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会が開催された。役員選挙が開催され、役員全員の選出と新会長の選任がなされた。

1) 開会

古川猛士常務理事

2) 議長及び副議長選出

議長 矢毛石 豊先生

副議長 片山晃紀先生

3) 議事録署名人選出

有働秀一先生

伊東隆三先生

4) 物故会員に対する黙祷

太田憲生先生 (平成25年5月28日御逝去)

5) 会長挨拶【要旨】

会員の皆様方こんにちは。第1回の選挙を行う初めての総会でございます。何分われわれ執行部一同も不慣れな事ばかりでございまして、

選挙管理委員会の先生方と何度も協議を重ねながら今日をやっと迎える事ができました。実際に投票してみないと最後の結果はどうなるかわかりませんが、新しい社団法人となって次の執行部を決める選挙でございまして、きっちりできる事が何よりかと思っております。私の会長の任期もこの総会、次の執行部が決まるその瞬間まででございます。2年と3ヶ月になりますけれど、その前の2年間で合わせまして長きに渡り会員の先生方には本当にお世話になりました。改めましてお礼を申し上げます。いろいろやり残した事もありますけれど、無事公益法人改革の対応ができた事は良かったと思っております。やり残したと思える事の一つに会費の問題がございます。県歯と同じ様に定額制の部分と収入割の部分の2本立で今会費の徴収を行っておりますけれど、これを何とか定額の1本制にしたいというのが前からの私の希望でありました。いろんな大きな改革が行われている中で、同時に行うのはなかなか困難をきたすと思い周知だけに留めて今日まで来ました。もうすぐ次の執行部が決まります。その執行部への私の遺言と申しますか、次の4月からは会費をぜひ一本化して頂きたい。

『その為に今日のこの総会の私の挨拶も説明の意味を兼ねた挨拶にさせてくれ。』というのが現執行部に対する最後の私の希望でございました。細かなシミュレーションに関しては蔵田先生をはじめ次の会計担当常務が一生懸命考えてくれると思います。どうぞ少しずつの値上げになる先生方が多いかと思えますけれども、会の構造をご理解の上さらなる変革に是非ともご協力をしていただければと思います。私の希望としましては是非とも次の3月の総会でそれを決めて頂き、次年度からは会費を一本化した運営をとって頂きたいという風に思っております。今日は1号から7号まで議案があります。そのうち7号が役員選挙でございます。何分この7号の議案に対して、投票だけにおいてになる会員の先生もおられますので、その前の6号議案のところまでは是非とも4時半までにスムーズな進行をして頂ければと思います。



支部問題・会費問題が協議された

6) 報告

- 1-1) 会務報告 渡辺猛士専務理事
- 1-2) 庶務報告 古川猛士常務理事
- 1-3) 会計報告 蔵田幸一常務理事
- 1-4) 監査報告 合澤康生監事
- 2) 審議委員会報告 宮本浩幸審議委員会議長

7) 議事

- 第1号議案 平成24年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第2号議案 平成24年度熊本市歯科医師会収

益事業会計収入支出決算の承認を求むる件

- 第3号議案 平成24年度熊本市歯科医師慶弔金制度会計収入支出決算の承認を求むる件

- 第4号議案 平成24年度熊本市歯科医師会退職積立金会計収入支出決算の承認を求むる件

- 第5号議案 平成24年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計決算の承認を求むる件

- 第6号議案 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、県歯代議員、予備代議員、国保組合会議員等の選任に関する承認を求むる件

- 第7号議案 一般社団法人熊本市歯科医師会役員選挙

第1号議案から第6号議案まですべて可決承認された。



直接投票される小島博文県歯副会長

8) 協議

- 1. 本会の会員増に伴う支部区割りの見直しについて

Q1) 1番人数が多い支部と少ない支部を教えてください。

A1) 東部3支部が53名、小島支部が14名です。

Q2) 人数の多い支部を割って支部を増やす

事は考えられるのでしょうか？

A 2) いまの支部の大きさに問題がある場合には、支部を割って小さくする方法は非常に有効な方法だと思います。

2. 本会会費の徴収方法について

Q 1) 会員の平等感というものを考えられるのであれば、確定申告の医業収入を考慮するのが本当の平等になるのではないか。

A 1) 確かに確定申告の医業収入を見る事は確かに一つの平等と言えるかと思います。ただ歯科医師会に対して『同じ権利を持っている者に対して同じ会費がある』という方向から考た会費の定額制というものが平等になると我々は考えております。

Q 2) 今までこの議題というものは何回か上がってきているのでしょうか。

A 2) すでに3、4回は出させていただいてます。

3. その他

- ・デンタルダイヤモンド社との契約について
- ・歯科医師国保組合員の資格調査、保険料について
- ・熊本市歯科医師会への入会率について

9) 役員選挙結果報告

郵送投票 253名 直接投票 32名の一般会員285名で投票が行われた。一般会員総数372名の過半数を超えたので本選挙は成立した。その結果13名の全理事候補者と監事候補者2名のいずれもが過半数の票を獲得し当選した。

(新理事)

宮本格尚	渡辺猛士	田中弥興
高松久志	古川猛士	小野秀樹
温 永智	瀬井知己	渡辺 洋
井手裕二	大塚昭彦	井野 健
有働秀一		

(新監事)

稲葉逸郎	蔵田幸一
------	------

(順不同 敬称略)



選挙管理委員会による開票作業

10) 会長選任報告

第1回の臨時理事会が開催され宮本格尚先生が第18代熊本市歯科医師会会長に任命された。

11) 閉会

藤波好文副会長

(広報 鯨川正和)



「会費徴収方法を検討する」

平成25年度 一般社団法人熊本市歯科医師会審議員会



諸決算を中心にご審議お願い致します

6月13日（木）午後7時30分より、会館3階市歯会議室において審議員会が開催された。

1. 点呼 古川猛士専務理事
2. 開会 宮本浩幸議長 秋山 清副議長
3. 議事録署名人選出

南部支部 西銘達生審議員
南部支部 前川研二審議員

4. 物故会員に対する黙祷

東部4支部 太田憲生先生

平成25年5月28日御逝去

5. 会長挨拶 清村正弥会長

本日は診療後の貴重なお時間にお集まりいただきありがとうございます。我々執行部も6月29日の総会までの任期となりました。4年と3ヶ月にわたり、審議員の先生方には会の執行に御協力いただき大変お世話になりました。ありがとうございます。今日は平成24年度諸決算を中心に御審議いただきます。会費徴収方法の改定、つまり現行の定額プラス所得割制から定額制一

本への移行につきましては、26年度から実施できるように次期執行部へ要望するつもりであります。多くの先生が若干の値上げとなるわけですが、所得割が個人情報保護の観点からも、また九州8市各歯科医師会をみましてもほとんどの所が定額制一本で徴収していることなどから、ご理解いただきたいと考えています。来年3月の総会で決定することを期待しております。それでは御審議よろしくお願い致します。

6. 報告

- | | |
|-------------|----------|
| 1) 会務報告 | 渡辺猛士専務理事 |
| 2) 庶務報告 | 古川猛士専務理事 |
| 3) 会計現況報告 | 蔵田幸一専務理事 |
| 4) 監査報告 | 與儀実彦監事 |
| 5) 役員選挙について | 渡辺猛士専務理事 |

7. 審議事項

- 1 平成24年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算について
- 2 平成24年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算について

3 平成24年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計
収入支出決算について

4 平成24年度熊本市歯科医師会退職積立金会
計収入支出決算について

5 平成24年度熊本市歯科医師会基本財産積立
金会計決算について

監査報告

6 市歯審議員、特別委員会委員及び顧問、県
歯代議員、予備代議員、国保組合会議員等
の選任に関する件について

8. 協議

(1) 本会の会員増に伴う支部区割りの見直し
について

(執行部) 支部別の会員数に数の大小、3 倍以
上の数の差が生じています。このこ
とが支部の運営において不都合があ
るのかうかがいたい。

一特に各支部からの意見は無し。

(中 央) 支部長会議をぜひ開催したいと考え
ています。よろしくお願いいたしますま
す。

(2) 本会会費の徴収方法について

(執行部) 均等割と収入割の二本立てから均等
割の一本化とすることは、個人情報
として知らせていただいている現状
がいつまでも続くとは考えにくいこ
とと、保険の割合の多寡もあるため
不平等ということもあります。

(北部3) 収入割を入れるのはやはり不平等と
考えます。それを是正するのは当然
と思います。

(3) その他

(執行部) 平成5年に本会が出版した「有病者
の歯科治療ガイドブック」(D.D)
で毎年印税が入っています。平成23
年に内容を改訂する話が来て、学術
委員会を中心に改訂版の執筆を進め
ました。その後デンタルダイヤモンド
社の担当者が亡くなりました。同社に
今後のことを問い合わせると、こ
の事業を取りやめる旨の連絡があ

りました。そのため、改訂版の執筆
に関わる100万円程度の経費を何と
か取り返せるよう交渉してまいりま
す。

(執行部) 未入会者対策を続けてまいりました。
現在9割が入会者です。具体的には
未入会者を社保の指導説明会に招い
たり、医療管理では未入会者への医
療苦情も本会で聞き、知らせたりし
ています。

(北部3) 保育園での健診時にミラーなどの貸
し出しを植木町役場から受けていた
が、熊本市からは借りられませんで
した。健診器具の購入を要請してい
ただけないか。

(執行部) 北区では予算がついたと聞いていま
す。

(北部2) レセプト審査の傾向について伺いた
い。

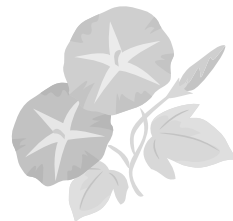
(執行部) 社保と国保の違いは明らかで、社保
は地域間格差をなくす方向と考えま
す。国保の動向は把握しにくいです
が、審査員や顧問の任期は2年で
すが、それが守られていないようで、
そういう情報を明示していくような
姿勢が必要かもしれません。

(北部2) 今まで変わらなかったことですから、
しかたのない面があります。しかし
このような御時世ですから、まとも
なものがまともに通るような形に
しないといけないと思います。

(執行部) 今度の指導医療官は真摯に話をきい
ていただける方と聞いています。

9. 閉会 稲葉逸郎副会長

(広報 前川研二)



新しい執行部を紹介します



新執行部です。よろしくお願いします



田中弥興 副会長

今回、副会長を拝命いたしました田中弥興でございます。法人改革により初めて信任投票により決まりました執行部に加わる栄誉と重責に身の引き締まる思いです。

前執行部よりの懸案であります会費徴収方法改訂や小学校フッ化物洗口普及事業という2つの大きな課題の達成を目標に心機一転、船出しました。皆様にはご意見を求めることが多々あると思います。その時は忌憚のないご意見をよろしくお願い致します。

微力ながら、宮本新会長を補佐し、会務に邁進してまいる所存でございます。

医療管理、広報と会務に携わってきましたが、まだまだ力不足のところが多々ありますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



渡辺猛士 副会長

今期宮本執行部におきまして副会長を拝命いたしました渡辺猛士です。

こしばらく執行部の一員として会務のお手伝いをしてまいりましたが、執行部におりますと熊本市歯科医師会には毎月まるでテトリスのように全く予想できないような難問が次から次と舞い降りてきます。さらに現在の課題として入会率向上への対応、会員の高齢化への対応、会費一本化への対応、市小学校フッ素洗口への対応、などなど解決すべき多くの問題を背負っております。

このような時期に副会長という重責を担うことになりまして、正直力不足を感じない訳でもないのですが、これから2年間にわたり宮本会長の片腕となり、新たになりました執行部の皆さんや一般会員の皆様方と力を合わせていかなる場面におきましても本会の名を汚すことがないように精一杯努力してゆく所存ですので、なにとぞ皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



高松尚史 専務理事

15年ほど前、熊本市学術委員会に参加させていただいて、熊本県歯科医師会理事就任するにあたり辞めて以来の、熊本市歯科医師会の役職です。今回、熊本市歯科医師会で理事経験がないにもかかわらず、宮本会長より専務理事の大役を任命されました。県歯科医師会で、学術・センター介護・調査IT、日本歯科医師会で、IT化推進委員会など、いろいろな場面で勉強させていただきました。熊本市歯科医師会での執行部の経験は、ありませんが、諸先輩方のご指導を受けながら、しっかりと役目を果たしたいと思います。

さて、熊本市は政令指定都市になり、熊本市歯科医師会の果たす役割が大きくなっています。熊本市が策定した第3次熊本市歯科保健基本計画では、平成25年から10年の事業目標などが記載されています。いろいろな事業を実現するには、歯科医師会の担う部分は大きいと感じています。現在進めているフッ素洗口事業は、その中に細かく記載されていませんが、熊本県と共同歩調をとりながらさらに進めて行きたいと思っています。

一方、これからの社会情勢を念頭においた場合、会費の徴収方法の検討は不可避であります。これから会員の先生方に説明し、理解をもとめながら、早めに対処しないといけません。

熊本市歯科医師会では、いろいろな課題が山積みです。持続可能な運営をすすめ、さらに発展していくように可能な限り努力していこうと思います。



古川猛士 常務理事

蔵田先生の後をついで、会計担当常務理事を拝命することになりました。

次は頼むよ、と蔵田先生から託されたわけですが、今期の会計は会費の均等割り一本化を目指す、という大きな仕事がか控えています。本会の会務に無理のないところで会費の設定ができるよう考えていかねばなりません。また、これまでの試算ではおおかたの会員の先生方には現在よりも若干の値上げとなりそうです。九州八市の会費を見ると、所得割があるのは本会と大分市の二つのみで、他の六市は均等割り会費のみとなっています。また会費も1万円前後という金額です。他と比べて本会がかなり低額の会費で運営されている現状です。だからと言って他のところとそろえる必要はないのですが。

支部会、審議員会、総会などでこれから慎重に検討していかないとはいけません。皆さん、ぜひとも支部会、総会などへ参加してご意見を賜われますようお願い致します。



小野秀樹 常務理事

この度、宮本新会長のもと常務理事に就任致しました小野です。

これまで委員、理事と5期13年、学術委員会に携わってきました。学術委員会は会員向けの学術的情報発信という仕事でしたが、会員が必要としている情報がどんなものか、試行錯誤しながらの会務でした。今後は庶務担当で対内的事業全般について担当致します。学術以外の会務については経験が無いため前任の先生の指導を請い、会員にとっての熊本市歯科医師会の存在意義と進むべき道を考えながら会務にあたる所存でございます。よろしくお願い致します。



瀬井知己 厚生理事

2期めの厚生担当理事を拝命いたしました瀬井知己です。平成9年に厚生委員会委員となり、早いもので厚生一筋17年目となります。中川前理事から引き継いだ1期めは、有能な委員の先生方のバックアップにより、なんとか理事の務めをはたすことができたのではないかと思います。

さて、ここ数年検討課題として上っております会費の徴収方法ですが、諸々の事情から、収入割を廃し均等割の一本化をめざしており、私を含め大方の先生にとっては、会費値上げとなります。厚生委員会が執り行う新年会、ビアパーティーも今まで以上に無駄な出費を抑えつつも、会員の先生方に喜んでいただけるように企画していかなければならないと考えます。理事としての任期2年、微力ながら宮本新会長を支えるべく頑張る所存です、何卒よろしくお願い致します。



井野 健 地域保健理事

地域保健理事をさせていただきます井野と申します。

平成15年に地域保健委員会に入り、あっという間に10年が過ぎました。平成22年から、副委員長として行政主催のイベントの打ち合わせなど、斎藤前理事に同行させていただき、多くのことを学ばせていただきました。主な活動としては、イベントでの健診、市民健口講座での講演等、不慣れではありましたが精一杯勤めてまいりました。

つい先日行われた歯の祭典でのことです。私は、市の健康福祉課の方とフッ素洗口体験コーナーの担当をしていました。体験して下さった小学1年生の保護者の方からこのような相談を受けました。幼稚園ではフッ素洗口を行っていてとても良かったのに、小学校によっては行っているところと行っていないところがある。是非、全ての小学校で施行してほしいというものでした。

幼少期からのフッ素洗口の重要性が認知されつつあることを実感し、今までの活動が、少しずつではありますが浸透してきているのを感じることができました。

私どもの委員会活動は、目にみえるような効果はありませんが、市民の歯に関する正しい知識の普及、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防に寄与できるよう努力して参りたいと思います。



大塚昭彦 学術理事

今期より宮本新会長のもと、学術委員会理事を担当することになりました大塚です。学術委員会には委員として2期、前任理事の小野先生のもとで2期委員長を務めました。この10年、ただ、言われた仕事をこなすだけの委員時代だったように思いますが、理事になり把握しなければいけない業務の多さに、少々戸惑っております。

さて、学術委員会の主な仕事は、会員向けの学術的な情報発信です。今何が必要か？何が知りたいか？常にアンテナを張り巡らせ、会員の皆様に少しでもプラスになる企画や情報を発信していきたいと思っております。幸い、優秀な委員の先生方がバックアップしてくれていますので、心強く思っております。

学術委員会に対するご意見、ご要望があれば可能な限り対応してまいります。まず、今期2年間、無い知恵をしばって会員の皆様の為に会務にあたりたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



井手裕二 学校歯科理事

前回に引継ぎ、学校歯科担当いたします井手裕二です。

学校歯科委員会の主な活動として6月と11月の「歯磨き巡回指導」があります。熊本市はご存知のとおり政令都市となり、小学校数は、植木町の8校、城南町の3校が加わり92校（プラス1校分校）とかなり広範囲となります。

今年、15年ぶりに熊本市に新しい小学校（田迎西小学校）ができました。まだ、訪問したことのない小学校が何校もあります。

熊本県は「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」を施行しました。政令指定都市となった熊本市でも同じような条例をお願いしたいと思っております。

平成23年度の熊本市の小学校6年生の一人平均う蝕歯数（DMFT）は、0.93本、中学1年生の一人平均う蝕歯数（DMFT）は、1.29本と全国平均より高い数値を示しています。このことにより歯磨き、フッ化物洗口などの予防効果の高い取組みについて支援を行わなければならないと思っております。

「熊本市子ども医療費助成制度」（ひまわりカード）が小学校3年生まで対象年齢が拡大したのですが、いずれ小学校6年生までになるように各関係機関に働きかけたいと思います。

また、平成25年10月17日（木）、18日（金）に熊本市で第77回全国学校歯科保健研究大会がありますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



温 永智 広報理事

このたび広報担当理事を拝命した温 永智です。植木町が熊本市と合併する前は、鹿本郡市歯科医師会で、専務理事、副会長をやっていました。県の委員は8期22年勤め、今期も県の医療対策委員を兼任しています。

多少は経験を積んでまいりましたので、役に立つかどうか分かりませんが信任を受けた以上、少しでも会員の皆様に役に立つよう努力したいと思います。どうかよろしくお願い致します。

さて現代は情報化の時代で、価値ある情報は対価を払ってでも手に入れる時代です。実際、情報を提供して莫大な財産を築いた企業がインターネットの世界ではいくつでもあります。情報は宝の山です。

熊本市歯科医師会の情報誌である「かわら版」「中岳」では、利益を得るとまでは言いませんが、読むことによって、文書上ではありますが知識の「経験知」を高め、それがひいては、経営・人事の改善、医療トラブルの予防、地域医療の貢献など、結果的には各歯科医院の利益に貢献するようお手伝いしたいと思います。その為にはできるだけ情報を目立つ形で発信したいと思います。

この宝の山には価値ある情報が満載してあると思いますので、皆様方、是非この情報をお読み頂きますようお願い申し上げます。必ず役に立たせたいと思います。



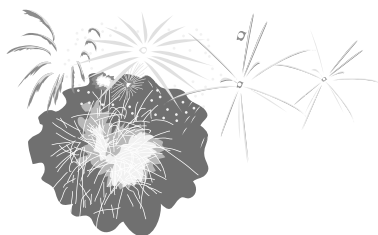
有働秀一 医療管理理事
(医療相談担当)

このたび医療管理委員会を担当させて頂く事になりました有働です。

医療管理の範囲は広くその情報は莫大です。会員の皆様方に必要な情報をわかりやすく端的にお伝えしていくことが私たち委員会の仕事と考えています。委員会には精鋭の先生方が集まりました。委員会全員でこの仕事をやり遂げたいと思いますので今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

また、同時に医療相談委員会の仕事も担当させて頂くことになりました。今期より添田誠也先生と私が新しく入りました。県医療対策から永松聖隆先生、副会長の田中弥興先生、医療管理委員長の高橋慎先生は長くこの仕事に携わられています。お世話になります。委員会の先生方からご指導をいただきながら、会員の皆様方が安心して診療に集中できる一助になればありがたいと思います。

よろしくお願い申し上げます。





渡辺 洋 社会保健理事

社会保険理事を拝命し、はや7年が過ぎてしまいました。何をしたわけではなく、ただただ時間だけが過ぎてしまいました。「皆様の手助けを」と考え活動しておりますが、評価は会員の方々からいただくこととして、委員は日々の業務に勤めております。その活動を大きく3つに分類しております。

- 1) 個別指導対策
- 2) 審査請求事例に関する内容
- 3) 社保を含む増患：増点の講習会

上記3の講習会は近年まれにみる着眼点より始まりました。

非会員を含む個別指導対策勉強会は成果の上がった研修会の一つです。今後は、目的設定をした研修会を順次行っていこうと考えております。是非ご参加ください。

当委員会にもより若い先生に参加いただき、今後は少しずつ若返りを図りたいと考えております。委員会へのご意見、ご要望等がありましたらいつでもご連絡ください。



稲葉逸郎 監事

この度、監事に選任していただき、ありがとうございます。

又、あらたに歯科医師会の為、会員の皆様に理解されるため、理事職を責任持って行わさせていただきたいと思います。

20年間それぞれの役職で仕事をさせていただきましたが、それぞれの理事の先生方の苦労はわかっているつもりでおります。

各年代の会員の先生方に歯科医師会の仕事を理解していただく努力をすることが今後の役割と考えています。多くの先生方に協力をいただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



蔵田幸一 監事

宮本執行部で監事を務めることになりました。監事といえば会の運営、会務の執行を監視する立場にあります。この執行部が会員のため、会のために十分に機能する事を願っております。又、歴代執行部に、勝るとも劣らない執行部であっていただきたいと願いながら、任務を遂行していきたいと思っております。

私は中根元会長の時代から、清村前会長まで理事を務めさせていただきました。長い理事経験で本会の運営、会務の執行については、少しはよく知っていると思っております。この経験を基に任務にあたってまいります。今期は執行部の中でも理事と違う立場で携わっていきます。

2年間よろしくお願いいたします。

「うつ病および心身症看者などへの対応を中心に」 医歯連携セミナー

6月6日(木)午後8時より国立病院機構熊本医療センターにて医歯連携セミナーが開催された。受講生は約40名であった。熊本市歯科医師会清村正弥会長の座長のもと、「歯科領域に関する精神疾患の診断と治療」ーうつ病および心身症患者などへの対応を中心にーと題し、熊本医療センター精神科部長の渡邊健次郎先生を講師として講演が行われた。



患者を守り、そして自分を守って下さい

まず熊本医療センターの現状概要、救急医療における方針「365日、24時間断らない救急医療全診療科受け入れ」の態勢を整えていることを述べられた。「救急外来受診患者数は年々増加、年間2万人に達するほどになっており、精神科関連はそのうちの1割強で例外ではなく増加傾向にある。もちろん歯科でも精神疾患の患者さんと接する機会は今後増えるとされ、基本的な注意点を心得ておく必要がある。」ということであった。

精神疾患として以下のものが挙げられる。

1. 統合失調症
2. 口腔内セネストパチー
3. うつ病、仮面うつ病
4. 身体表現性疼痛性障がい
5. 口腔内心身症
6. 認知症
7. 発達障がい
8. 睡眠障がい
9. てんかん

1. 統合性失調症

患者は通院が中心になり歯科受診が増加している。この病気は歯科疾患が多発することが特徴とされる。コミュニケーションが困難なため、麻酔・抜歯・義歯関係の治療が困難で、咀嚼筋の緊張異常から歯痛、咬合違和感、顎関節脱臼、義歯不調を訴えることが多い。治療への影響として、開口維持の困難・嚥下困難・義歯治療困難などが挙げられる。口腔ケア・義歯メンテナンスの問題・痛みを恐れて治療拒否等の問題があり、対応としては思考障がいを背景とした訴えのため、まず話を聞き信頼関係を築いていくことが必要とされる。技術的な問題の前に患者の思考、行動への対応が重要で精神科との連携を確実に行う。

2. 口腔内セネストパチー

口腔内の異常感覚を訴えるものでその内容は空洞などの異常感・異物の存在・虫の存在・びりびりした痛み・灼熱感・刺激痛・かみ合わせの悪さなどで中年期以降の女性で歯科治療後に起こることが多い。特にかみ合わせの問題を長年訴え、歯科医院を転々とし、精神科への受診は拒否的である。

3. うつ病、仮面うつ病

仮面うつ病は頭痛、吐き気、動悸、便秘等の身体症状が目立つものを、うつ病と区別される。口腔内所見では、慢性疼痛や異常感覚が見られる。そのために、抑うつを引き起こすとされる。その他、全身症状として思考力の低下、睡眠障がい、食欲低下などが挙げられる。治療は抗うつ薬が有効で、カウンセリング、リラクゼーション等によるストレスケアが行われる。特に口腔内は、他の臓器と比べ心理的影響を受けやすいとされる。

4. 疼痛性障がい

女性の割合が男性の2倍出現し、30～40代に多く、その半数以上がうつ状態を呈している。6割は口腔領域の痛み（顎、歯、舌、歯肉）

を訴え、治療としては薬物療法・精神療法・主観の痛みに対しては無痙攣通電療法が有効とされ、麻酔科、心療内科、ペインクリニック、精神科等と連携してチーム医療を行うこと事が必要とされる。

5. 心身症

ストレスに対する身体の反応、失感情症を呈する。心身相関からのアプローチが行われる。歯科治療に関しては、常に医療行為は治療に向くと考えられるが、慢性疾患や寛解の概念も取り入れる必要がある。

6. 認知症

アルツハイマー病、血管性認知症、ルビー小体病、前頭側頭葉変性症等

7. 発達障がい

広汎性発達障がい、注意欠如多動性障がい、学習障がいなどが挙げられる。

8. 睡眠障がい

歯科との関係疾患としていびき症、歯ぎしり症、口腔乾燥症、顎関節症（うつぶせ寝や歯ぎしりによる）

9. てんかん

薬の副作用による歯肉増殖が見られることがあり、抗生剤、鎮痛剤が抗てんかん薬の血中濃度を上昇させる事がある。てんかん発作がコントロールされていない時は、歯科治療が困難な時がある。

ここで歯科医師から精神科医への連携に関しては、

- ・必要な身体的検索を十分に行い、その結果についてできるだけ詳しく説明する。

- ・口腔内に痛みの原因が認められないが、現実存在する痛みに対して、心理面の関連性も含め専門医に紹介して今後の治療に対する意見を求める。

- ・今の精神状態で歯科治療が可能か専門医の意見を求める。

- ・患者には診療情報提供書を手渡し、紹介先には電話などで詳細に説明する。

日常の診療において、今後精神疾患を抱えられた方が口腔内に何らかの症状を訴え受診されるケースは増加すると思われる。最近、通院治療による統合失調症の増加や認知症の増加に伴い、精神障がいの方の歯科受診が増加している。精神科・心療内科の知識は医原病の予防につながり、また向精神薬と歯科で処方される薬剤との相互作用についての知識を持つことが医療事故防止になる。

今の時代、歯科診療を行っていく上で、精神疾患を持たれている方への対応を含めた全身疾患と歯科についての知識を身につけることが非常に大切と考えます。医歯連携セミナーは年に3回行われ、日頃なかなか聞くことができない医科の話などを、歯科に関連付けて話していただけます。参加された方には非常に好評を得ております。

院長先生はじめ歯科で働く医療従事者の皆様方の、是非のご参加を希望いたします。

「患者を守り、そして自分を守るために」

(医療管理 高橋 禎)



セネストバチーは身近な問題です

「周術期の連携を積極的に！」

平成25年度第1回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会



熊本医療センターと活発な意見交換が行われた

平成25年度第1回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会が7月8日（月）午後7時より熊本県歯科医師会館にて開かれました。出席者は熊本医療センターから河野文夫院長、高橋 毅副院長、清川哲志統括診療部長、中島健歯科部長と原田正公救急救命科医長でした。熊本市歯科医師会からは宮本格尚会長、渡辺猛士副会長・田中弥興副会長、高松尚史専務理事、有働秀一医療管理理事と同委員長である私、高橋慎でした。

まず宮本会長が挨拶され、現在歯科医師会是新執行部になり、益々熊本医療センターと協力していきたいと述べられました。特に周術期の連携についてさらに積極的に行いたいと話されました。次に熊本医療センター院長の河野文夫先生が挨拶され、熊本医療センターも4月より新体制に入ったことを話され、24時間救急を断らないことをモットーにこれからも努力していくと述べられました。また歯科医師会のおかげで歯科と医療センターとの連携がうまく取れていることを話されました。そして協議に入り熊本医療センターの先生方から説明がありました。内容は以下の通りです。

1. 歯科紹介率について

平成24年度の歯科紹介患者数は731人で前年度と比べると増加していました。平成25年度も4月から6月までですが前年度を上回っています。また平成24年度の歯科紹介率は院外32.3%で前年度より少し減少しましたが今年度は3カ月で37.1%と増加しています。またがん連携の関連で院内紹介も増えているそうです。平成24年度の歯科地域医療支援病院紹介率は31.2%と前年より下がりましたが今年度は増加傾向にあります。

2. 歯科救急医療について

利用状況について平成24年は216件と昨年よりかなり増加しました。今年も6月までで96件あり昨年と同じペースになっています。内容は外傷（交通事故、転落、殴打）や誤飲、骨膜炎です。義歯の誤飲は6件あり、その中の1件は手術で取り出したそうです。やはり認知症の方が受診されています。またリーマーの誤飲の症例がありましたが、リーマーはレントゲンでは確認できずCTで確認できたそうです。

3. 救急蘇生講習会について

毎年好評で参加者の多い救急蘇生講習会は今年度も11月14日（木）午後7時30分より麻酔科の先生にお願いして例年通り開催される予定です。直前の混乱がないようなるべく早くに参加者の確定を行うことを確認しました。

4. 開放型病院連絡会について

平成24年度第1回開放型連絡会が平成24年9月10日（火）午後7時よりホテル日航熊本にて開催する予定です。今回も症例報告と地域連携医療室からのお知らせ意見交換会があります。今回はいつものパレアホールではありませんので注意してください。

5. その他

障害者歯科については年間数例で全身麻酔下治療のみ対応しているとのことです。またB P剤特にゾメタでの顎骨壊死は増加傾向にあるそうです。また人間ドックで歯科検診があるのは日本赤十字病院だけでぜひ熊本医療センターでも行って欲しいとの要望が出ました。今回は例年以上に活発な意見が交わされ閉会となりました。（医療管理 高橋 禎）

～ トピック ～

【岡山】

虫歯から育児放棄発見 学校検診で県教委、県歯科医師会

山陽新聞 7月30日（火）配信

岡山県教委と県歯科医師会は、虫歯の数などでネグレクト（育児放棄）があるかどうか判断して、児童虐待の未然防止を図る取り組みを進めている。ネグレクトを受けている子どもの多くは虫歯の治療を受けていないため。小中高校で毎年行う歯科検診の結果などを踏まえ、総合的に「虐待の可能性あり」と判断した場合、学校は児童相談所などに通告する。

東京都が2003年にまとめた調査結果によると、虐待を受けている児童1人平均の虫歯の数は、11歳児で4.2本（一般児童1.6本）、12歳児は6.9本（同2.2本）で、その数の多さが顕著となっている。

県歯科医師会は「口腔内環境は子どもの生活習慣や保護者の育児姿勢を表す指標。ネグレクトを疑う重要な手掛かりにもなる」と指摘する。

岡山県では、07年度から「歯・口の健康診断の手引き」で虐待への対応を規定して実施。4～6月に行っている歯科検診で、口腔への外傷や10本以上の虫歯、前年度から治療されていない重度の虫歯がある児童生徒は、診断票の所見欄に印を付けて養護教諭や担任に伝えている。

県内のある小学校歯科医は「教諭への報告対象となる児童は1クラスで1人の割合でいる。対象児童が仮に学校全体で10人いたとすれば、そのうち半数はほぼ全ての歯が虫歯で、特に注意が必要」と話す。

学校はこうした結果を踏まえ、生活リズムや服装の乱れ、家庭訪問時の状況なども加味して「保護や支援が必要」と判断すれば児童相談所、市町村に通告する。

県教委保健体育課は歯科検診について、「暴力による虐待と違って傷が残らず、静かに進むネグレクトを知ることができる重要な機会」とする。県歯科医師会の平岩弘常務理事は「注意深く検診に当たり、学校との連携を強化して早期発見を図りたい」と話している。

『知っておくべき抜歯後の三叉神経・舌神経障害への対処法』

平成25年度 熊本市歯科医師会第1回学術講演会

5月18日(土)午後3時3階市歯会議室にて、和歌山県立医科大学口腔顎顔面外科学講座教授の藤田茂之先生をお招きし、第1回学術講演会が開催されました。演題は「知っておくべき抜歯後の三叉神経・舌神経障害への対処法」と、我々が日頃の診療で遭遇するかもしれない抜歯後の神経障害に関する内容であったため、会場である歯科医師会館3F市会議室は満席となりました。

藤田先生は日本で顕微鏡下微小神経縫合手術の第一人者であり、京都大学ならびに和歌山県立医科大学の口腔外科臨床において、15年以上に渡り、数多くの神経縫合手術を経験されています。今回、全国で生じている舌神経麻痺や三叉神経麻痺などの神経障害に対し、その予防法や神経障害の診断法、さらには神経縫合手術の適応症などについての知識を普及させることを目的としてこの講演が企画されました。

国民の歯科診療に対する意識の向上につれて、我々が普段あまり経験していない難症例の治療需要が増加しているといわれている。例えば、下顎骨が薄く下歯槽神経の近接部位にまでインプラントを植立せざるを得ない症例、舌側に振った下顎埋伏智歯の抜歯などが挙げられる。残念ながら、これらの手術の術後に稀に神経障害の問題が発生している。神経障害が発生した後、もちろん、情動に流された訴えを持ち医原性病変に長年苦しみながら気の毒にも放置されてきた患者もかなり存在した。これらの患者に接する度に、「何故ここまで拗れてしまうのか?」、最初に行うべき患者へのインフォームドコンセントが如何に重要であるかを痛感するとのことであった。

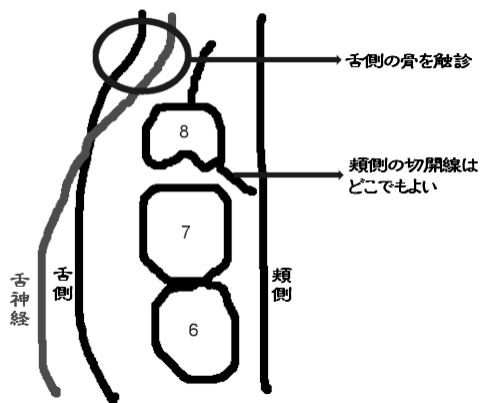
三叉知覚障害を扱う時、最も慎重に対処すべき点は、時間の経過と、現症の正確な分析把握である。つまり、神経節の細胞が死滅しないようタイムロスを最小限に食止めることである。

しかしながら、もしも三叉知覚障害が発現し、そのうち重篤な三叉神経知覚障害だけは、顕微鏡下神経吻合術が適応であり、著明な改善を期待できる場合があるが、残念ながら日本では普及していない。

【舌神経麻痺】

舌神経の障害は三叉神経の障害よりは頻度は少ないが、起こると味覚麻痺や感覚麻痺による舌の咬傷などの大きな問題が生じる可能性が高く、患者の日常生活上の問題は大きい。実際、舌神経は第2大臼歯舌側遠心を走行し、智歯抜歯時切開線の誤りや歯冠分割の際にバーで傷つけてしまう可能性があることを意識しておく必要がある。このような神経損傷に対しては、早期に神経吻合術を行うことで、神経の回復を期待することができる。くれぐれも漫然と投薬を続けてしまい、長期化させないようにすることが大事である。

【舌神経の走行】



※もしも、知覚異常が発生したら、、、
創部の消炎をしながら、

●薬：①ステロイド大量投与

②ビタミンB12 + アデノシン三リン酸
を投薬

●星状神経ブロック：歯科大学かペインクリニックに依頼

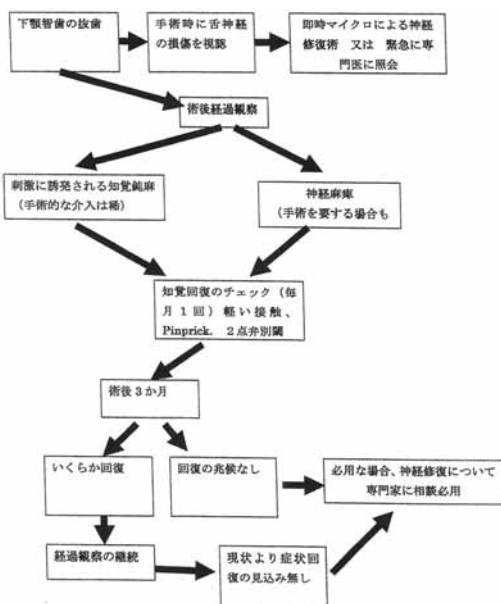
【2点識別法】



【その他診断法】



【舌神経障害のフローチャート】



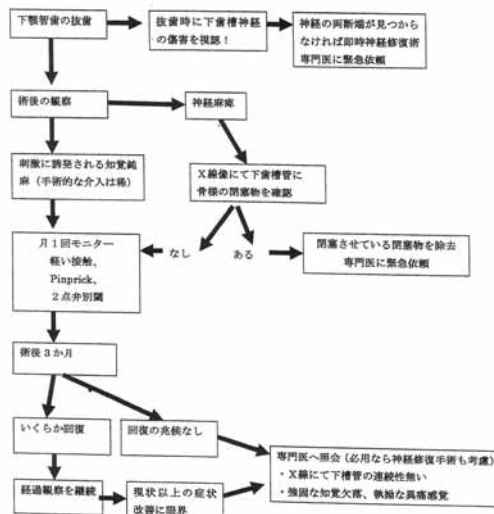
講演終了後藤田茂之教授（左）に感謝状

【神経損傷後の対応】

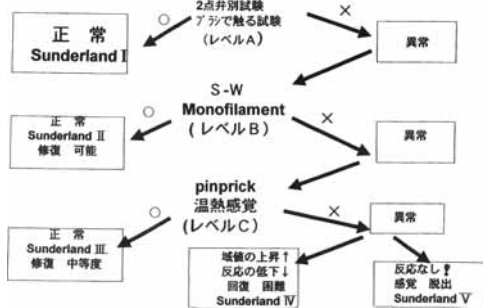
1. 鏡で確認する（できればご家族も一緒に）
2. 必ず記録を残す… 写真・カルテ記載（どんな些細なやり取りでも記載しておく）
3. 経過を定期的に月一回は追う
4. 歯科医師会や専門医に相談する

下歯槽神経の吻合術も可能とのことだが、知覚異常の程度や2点識別検査などの診査を行い、診断をしっかりと行う必要があるとのことであった。抜歯後の神経損傷による後遺症は、患者にとっても術者にとっても悩ましい出来事であるため、出来るだけ避けるべきものであり、そのためには的確な診断の上で処置に入るべきであり、その上で、適切に処置がなされるべきであることを再確認できました。

【下歯槽神経障害のフローチャート】



Clinical Neurosensory Test



(学術 関 光輝)



準備に追われる役員の先生方



本妙寺保育園の児童による太鼓の演奏



くまモンもやって来た



くまモンも歯の健診するモン

「今年のテーマ 歯の祭典」

6月9日（日）歯の衛生週間の中、毎年恒例の最大イベントである「歯の祭典 2013年」が大江のウェルパルクまもとにて盛大に開催されました。

当日は朝から晴天ではなく今にも雨が降りそうな天気でしたが、会場は多くの来場者で熱気につつまれていました。

11時の開会式前10時30分から本妙寺保育園の児童による太鼓の演奏に続き清村正弥会長、齋藤忠継理事の開会式の挨拶の後、11時より開催いたしました。

各イベントコーナーでは来場者の行列ができ、特に矯正歯科相談コーナーでは大変多くの方が熱心に相談されていました。

午後からは伊東隆三先生による「矯正歯科治療 お母さんたちが知りたい“12”のポイント～「Q&A」の講演会が開催され幅広い来場者の方が熱心に講義を受けられました。（次ページ内容）

くまモンの来場もあり周りの子供達の歓声が会場に響きわたり盛り上がりを見せました。

今回は全体として若い親子の方々が多く、特にお子さん方の歯列の悩みが一番多く相談された様に思われます。

今回の来場者数1104名、過去において1000名以上は初であり、会場が少し手狭に感じられました。歯の祭典も浸透しつつあり、これもひとえに各先生方や関係団体の方々の協力の賜物であると思います。

今年退陣される清村正弥会長、齋藤忠継理事の意志を受け継ぎこれからも歯の祭典を盛大に行って行きたいと思います。

各ブースの先生方、大変ご尽力いただき有り難うございました。

（地域保健 井野 健）

は矯正治療J 2013

われわれ矯正歯科専門医からみますと、矯正歯科治療が必要な子供たちが非常に多く見受けられます。その多くの子供たちや母親たちには早い時期から不正咬合の予防や矯正歯科治療の必要性に対する正しい知識や情報が伝わっていないように思われます。

それではなぜ矯正歯科治療が必要なのでしょう。矯正歯科治療により咬合や審美的な改善を得られるのは当然ですが、正常な顎骨の成長を促したり、う蝕や歯周病の予防、咀嚼機能の向上、発音機能の改善などが得られます。さらに、よく咬むことで満腹感が得られダイエットにもなり、口元の小じわやホウレイ線が薄くなりアンチエイジングにつながるなど、さまざまな効果が考えられます。

ところで、最近の子供たちはアゴの発達が悪く永久歯がきれいに並ばないのでは(?)という声をよく耳にします。これは幼児期からの軟らかいものの摂取や食習慣が大きく影響しております。よく噛まず、お茶などで食べ物を流し込むことによりアゴが十分発育していないのです。著しい子供では乳歯列ですでにガタガタになっています。現代病の一つと言えますが、むし歯撲滅にお母さんたちが情熱をそそがれたように、アゴを大きくするためどうしたらいいかをわれわれと共に考え、行動してほしいと思っております。



食習慣がアゴの発育に大きく関係する



相談コーナーは大忙し



みんな いい笑顔です



子供たちも大勢参加



矯正の話に聞き入るお母さんたち

開業歯科医師が必要な放射線管理知識(1)

熊本市保健所 医療政策課

医療に用いられている放射線の中では、X線が最も一般的です。歯科診療所でも歯科用X線装置を備えて、日々診療にご活用のところと存じます。X線は、基本的には人体に害を及ぼす可能性のある危険なものとして扱われるところであり、医療安全の観点からも、放射線を安全に医療に応用するために、今回はこの「X線」の管理についてお話しします。

1. 何を管理する？

放射線管理には、二つのポイントがあります。一つめは、放射線を扱う場所を危険な場所として「管理区域」を定めることです。なお、管理区域の構造等については、医療法及び医療法施行規則に詳細が定められています。

二つめは、管理区域内で従事する者の健康を守る管理です。従事者の被ばく線量を最小限に抑えることが必要で、労働安全衛生法及び電離放射線障害防止規則には、作業環境や従事者の被ばく線量をモニターすること、健康診断を受診すること、許容される被ばく線量に関すること等が定められており、医療法施行規則にもこのことが放射線診療従事者等の被ばく防止として謳われています。

2. 放射線を使う場所の管理(図1)

管理区域を管理していく上で最も重要なことは、その場所にどれだけの放射線(X線)があるかを知ることです(環境測定)。法に定めた一定の基準値を超えていないかを常時、または定期的に確認しておくことが必要で、主に次のような規定があります。

- エックス線装置を固定して使用し、使用方法や遮へい壁が一定している場合は、6ヶ月を超えないごとに1回、管理区域とその境界などの放射線量を測定し、記録を5年間保存すること。
- 管理区域境界の実効線量は、3ヶ月間につき1.3 mSv以下にすること。

- 診療所の敷地境界の実効線量は、3ヶ月間につき250 μ Sv以下にすること。
- X線診療室は、隔壁の外で1週間につき1.0 mSv以下にすること。

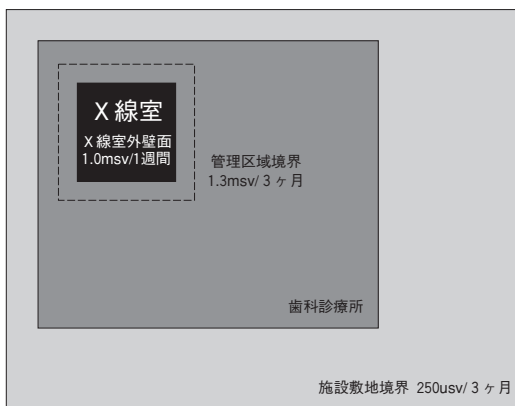


図1 基準線量

3. 漏洩線量測定の手順

1) 測定器の選択

医療法施行規則第30条の22に示す管理区域漏洩線量測定のための放射線測定器としては、電離箱式のサーベイメータを使用するのが最も適しており、次にGM管式やシンチレーション式が適しています。GM管式は、0.1~0.2 μ Sv/h程度の線量率から測定できるため、低い漏洩線量率の測定に適していますが、高線量率になると「数え落とし」という現象が現れ、数mSv/h以上では指示値が不安定になって動作しなくなります。また、シンチレーション式サーベイメータは、環境レベルの低線量率の測定に適しています。

2) 線量率測定と積算線量測定

エックス線に関する空間線量の測定方法は、放射線発生源の性質により、①連続的に放射線を発生する場合と、②間歇的(短時間・瞬時的)に放射線を発生する場合とでは測定方法が異なり、それぞれ「線量率測定」と「積算線量測定」を行います。

撮影用エックス線装置、口内法撮影用エックス線装置、歯科用パノラマ断層撮影装置など短時間、または瞬間的に放射線を発生する場合の空間線量の測定は、測定器の応答時間に比べてエックス線の照射時間が極めて短く、直接に線量率での測定を行うことができないため、積算線量で測定することになります。

①線量率測定（連続的に放射線を発生する場合、線量率計を用いて測定する）

エックス線室からの漏洩エックス線の強度を1時間当たりの線量（ $\mu\text{Sv/h}$ ・ mSv/h ）として測定する方法 ⇒ エックス線透視撮影装置、循環器用エックス線診断装置等

②積算線量測定（間歇的に放射線を発生する場合、積算線量計を用いて測定する）

エックス線室からの漏洩エックス線を一定時間間隔積算した線量（ μSv ）を測定する方法

⇒ 撮影用エックス線装置（口内法撮影用エックス線装置・歯科用パノラマ断層撮影装置を含む）、CT装置等

3）測定手順（間歇放射線の測定＝積算線量の測定）

①照射条件の設定

実際に使用する各照射方向につき通常使用する条件で照射し、積算線量を測定する。

②被写体（ファントム）

口内法・歯科用パノラマ断層撮影・歯科用エックス線CT装置・頭部規格（セファロ）撮影を測定するとき

直径16cm程度の円柱プラスチック容器に水を入れて使用する。

医用エックス線CT装置等を測定するとき
専用ファントム（直径30cm以上の円柱型）を使用する。

③照射野の大きさ

口内法撮影用エックス線装置

各装置固有の値となる

歯科用パノラマ断層撮影装置・歯科用エックス線CT装置・頭部規格（セファロ）撮影装置

各装置固有の値（選択できる場合、大きいもの）

医用エックス線CT撮影：最大スライス厚

④測定場所

管理区域境界外側の画壁等を適当な間隔で測定する。

測定器は床から1mの高さとし、画壁外側の表面に対して垂直に向ける。

線源に最も近い場所、利用線錐側の画壁、防護扉周囲及び召し合わせ部分、監察用窓の取付部分、ケーブルピット、換気扇、その他開口部などは特に念入りに測定する。

⑤測定回数

測定箇所一点につき、複数回（3回～5回程度）照射し、積算する。

⑥バックグラウンドの除外（バックグラウンドの測定）

放射線が照射されていないときの指示値をバックグラウンド値とする。放射線照射後の指示値から照射直前の指示値を差し引く。

4）測定者について

測定業務を行う者については、放射性物質を取扱う場合を除き、法令上特に規定はありませんが、医療領域における放射線に関して十分な知識を持っていなければなりません。

（社団法人 日本画像医療システム工業会作成
エックス線診療室の管理区域漏洩線量測定マニュアルより引用）

4．作業する人の管理

放射線を扱う人の健康を管理するためには、作業に携わる人の個人被ばく線量測定と健康診断の受診・記録（個人票管理）が必須になり、次のような規定があります。

- 事業者は、放射線業務従事者、緊急作業に従事する労働者及び管理区域に一時的に立ち入る労働者の管理区域内において受ける外部被曝による線量及び内部被曝による線量を測定しなければならない。また、放射線業務従事者については、測定記録を30年間保存せねばならない。（電離放射線障害防止規則56－1）
- 従事者の実効線量限度は、5年ごとに区分した各期間につき100 mSv以下とし、4月1

日を始期とする1年間につき50 mSv以下とすること。なお女子（妊娠する可能性がないと診断された者、妊娠する意思がない旨を病院又は診療所の管理者に書面で申し出た者及び次号に規定する者を除く。）については、4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日を始期とする各3月間につき5 mSv以下とすること。また、妊娠中である女子については、本人の申出等により病院又は診療所の管理者が妊娠の事実を知った時から出産までの間につき、内部被ばくについて1 mSv以下とすること。放射線診療従事者等に係る等価線量限度は、眼の水晶体については、4月1日を始期とする1年間につき150 mSv。皮膚については、500 mSv。妊娠中である女子の腹部表面については、妊娠の事実を知った時から出産までの間につき2 mSv以下とすること。（医療法施行規則30-27）

つまりは、歯科診療所においてX線撮影に直接携わる歯科医師は「放射線業務に常時従事する労働者（放射線従事者）」にあたり、6月以内ごとに1回、定期に医師による健康診断を行う必要があり、「電離放射線健康診断個人票を

作成し、これを30年間保存しなければならない」という条文に該当します。また、事業者は、健康診断（定期のものに限る）を行なったときは、遅滞なく、電離放射線健康診断結果報告書を所轄労働基準監督署に提出しなければなりません。（電離放射線障害防止規則58）

今回、放射線管理の観点から筆を執る機会をいただきましたことに、御礼申し上げます。

医療法は放射線の管理を医療施設の管理者義務と位置づけ、施行規則で基本的な管理が詳細に謳われています。また平成15年には医療法に「医療安全」の考え方が導入され、医療の安全をいかに担保しながら良質な医療に取り組むかということが今日の医療のスタンダードとなってきました。「医療」という危険を伴うことに取り組みながら、より「安全」に疾患を治すという、矛盾した業に日々取り組んでいらっしゃる先生方に、深く敬意を表するところです。患者のニーズは高まる一方で、医療従事者の疲弊も一部に聞こえてきておりますが、皆様におかれましては、引き続き市民への適切でより安全な医療の提供にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

参考

- ・ 医療法
- ・ 医療法施行規則
- ・ 電離放射線障害防止規則
- ・ エックス線診療室の管理区域漏洩線量測定マニュアル（社団法人日本画像医療システム工業会作成）
- ・ 福島県歯科医師会ホームページ【（歯科医師会）サーベイメーター使用法マニュアル】
- ・ 付録 記録用紙記入要領（社団法人 日本画像医療システム工業会作成）
 - 漏えい線量測定記録用紙ひな形（社団法人 日本画像医療システム工業会作成）
 - 漏えい線量測定結果用紙ひな形（社団法人 日本画像医療システム工業会作成）
 - 漏えい線量測定平面図（社団法人 日本画像医療システム工業会作成）
 - 漏えい線量測定率面図（社団法人 日本画像医療システム工業会作成）

「雇用に必要な基礎知識」

日本歯科医療管理学会九州支部研修セミナー



服務規程の常識も文書化されてないと常識でない

5月26日(日)午前10時より福岡サンパレスにおいて日本歯科医療管理学会九州支部研修セミナーが開催されました。まず支部長の挨拶があり、次に「日本歯科医療管理学会の認定医制度について」の講演を認定医制度委員会の委員長 笠井史朗先生が行いました。現在、九州では7、8名の先生が認定医を取得されているに留まっているそうです。歯科医療管理学会の認定医制度とは明確な定義があるわけではないが、歯科医療管理学は治療内容を追及するのではなくそのシステムを教えて発展させる学問であることを話されました。実際のところ認定医がいま必要なのか、何を目標しているのか、認知させることができるのかが疑問点として挙げられていますが、安心安全信頼を提供できる歯科医師を育てることが認定医制度の目標であると述べられました。今後、他の学会においても医療



雇用者側も時代に対応する必要性がある

安全は必要な事項であるので、他の学会の認定医取得に際して歯科医療管理学会の認定医が必要になることも視野に入れていると述べられました。現在認定医制度は、取得単位数、認定医研修会、学会への参加や発表が必要であるが暫定期間中で取得しやすいとのことでした。専門医制度、指導医制度はまだ検討中の課題だそうです。

続いて「雇用に必要な基礎知識」と題しまして小川社会保険労務士事務所の小川美也子先生に講演していただきました。現在雇っているスタッフとの労務問題が大きくなってきているという事で、まずは労働契約について話がありました。労働契約に関する法律は、罰則がある労働基準法と罰則はないが民法から独立してでき



出席した宮本格尚理事(右)と高橋禎委員長

た労働契約法があります。労働基準法は、最低限のルールであり、これを下回ることはできません。労働契約法は労働契約の締結・変更・解約等の基本的なルールである。また最近、労働環境の変化(労働者の意識・価値観の変化、多様化する就労形態)のため就業規則の見直しの必要性を述べられました。労働者が9人以下の場合就業規則の作成は義務付けられていませんが、これからはトラブルを防止するうえで、就業規則を作成し、労働条件などを明らかにすることが望まれることを話されました。

次に就業規則の基本的なポイントとして以下

の6項目が挙げられました。

- 1) 必要事項は漏れなく記載されているか
- 2) 実態の労働条件と乖離していないか
- 3) 法改正に対応しているか
- 4) 適用範囲は明確に区分されているか
- 5) 雛型・インターネットの就業規則をそのまま転用していないか
- 6) 起こりえるトラブルを想定した防止規定となっているか

特に、服務規定は雇う側と雇われる側に価値観の差があり、「こちらは当たり前だと思っている常識も書いていないと常識ではない」と話されました。

また平成25年4月から有期労働契約について法改正がありました。内容は3点あり特に気を付けなければいけないのが無期労働契約への転換でした。これは有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときには労働者の申し込みにより期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換できるルールです。あとは「雇止め法理」の法定化と不合理な労働条件の禁止のルールが改正されました。また労働時間の問題点として所定労働時間以外の労働、たとえば朝の準備や診療後の片づけなどがサービス残業になっているケースがあり、このトラブルが増加しているそうです。労働時間の原則はあるが変形労働時間制をうまく利用して労働時間を規定した

らどうかと話されました。さらに休日についての説明や、振替休日と代休の違いを知らないと支払う賃金が違ってくることを例を挙げわかりやすく説明されました。時間外労働・休日労働を行うための手続きとして①就業規則などに定めがあること②業務上の必然性があること③36協定を結んで届けていること④割増賃金を支払っていることをあげられました。36協定（時間外労働・休日労働に関する協定届）は年1回届ける必要があると述べられました。次に割増賃金について計算方法や端数処理の仕方の説明や年次有給休暇について例をあげて説明されました。賃金の説明では給与・賞与・退職金のバランスをどうするのが重要と話されました。また、賃金はノーワーク・ノーペイが原則であることを話されました。定年についても平成18年の高年齢雇用安定法の改正により①定年年齢の引き上げ②継続雇用制度の導入③定年制の廃止が導入しなければならない制度として話されました。講演終了後の質疑応答では、予定をかなりオーバーする30分程色々な疑問点が出されました。小川先生の講演は分かりやすく、これからも雇う側の心構えとしてルールをよく理解し、時代に対応していく必要性を強く感じました。

（医療管理 高橋 禎）

コラム

お勧めのディスク

Dee Dee Bridgewater - Live at Yoshi's

ちょっと前に出ていたんですが、先日見つけました。1998彼女のアイドルであったエラフィッツジェラルドの誕生日にカリフォルニアでおこなったライブです。

ピアノトリオをバックにエラ張りのスカットを聞かせてくれます。ファンキー、エモーショナルという形容詞はこのためにある。

何も考えなくて、熱くなれます。

子供でも注意!! 小児生活習慣病予防

第34回熊本市学校保健合同研修会

第34回熊本市学校保健合同研修会が6月25日(火)午後2時より開催されました。

最初に学校保健会総会があり、長年学校保健会会長をされていた豊田大徳先生が辞任され、次回より医師会副会長の園田 寛先生が就任されることが了承されました。

その後、学校保健合同研修会の講演がありました。



子供の肥満は成人になってもリスクがある

はじめに、「小4で行なわれている小児生活習慣病予防健診の内容と結果について」で、田畑こどもレディースクリニック理事長、田畑博己先生(熊本市小児生活習慣病予防検診班長)の講演がありました。

熊本市の平成24年度小児生活習慣病予防健診実施状況は、小学4年生の在籍者数6,924名中、肥満度(身長、体重の平均値より)20%以上は650名、9.39%であった。このうち二次健診受診者は328名で、4人に一人は精査・加療が必要であったことを報告された。

次に「やっぱりよくないの?! どうすればいいの?! ～学童期の肥満の現状と対策～」で、熊本赤十字病院小児科、窪田祥吾先生の講演がありました。

日本の子どもの肥満人口は10%前後で男女ともに10歳前後が最多であり、子どもの肥満が成人に持ち越し、成人になってからの心血管系イ

ベントのリスクを上げるそうです。



運動 睡眠 食事が大事である

対策とすると、まず運動。

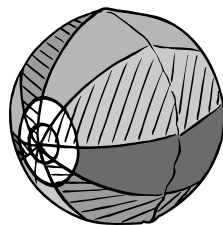
幼児期にあまり運動しない子どもは思春期になってもあまり運動しないが、肥満児において運動を促進すると、肥満や運動能力が改善し、血清脂質値、動脈硬化指数も改善すること。

次に睡眠。睡眠時間の短縮は肥満や高血圧の増加につながり、子どもの精神衛生にきわめて悪い。

そして食事。食生活。規則正しい食習慣。

肥満は「遺伝」の要素もあるが、同じ食生活をしていることが大きな原因であることを報告されました。

(学校歯科 井手裕二)





ネクタイはずし、さあ一飲むぞ



政連もご苦労様でした



いろいろお世話になりました



事務局にも大変お世話になりました

お疲れ様 合同

6月20日第2期清村執行部の合同委員会が開催されました。合同委員会とは、每期各委員会の反省会、ならびに慰労会を兼ねるという目的のもとで2年に一度執り行う任期末の事業で、普段歯科医師会組織の役員としてご尽力いただいている先生方に、ご自身の所属されるグループ以外の仕事内容やメンバーなどについて理解を深め、また、普段はあまり接触することがない他のグループの先生方との交流をはかり、より円滑な相互関係を築くことを目的に開催されます。

今年度は、ニュースカイホテル25階にて地域医



心より皆様方に感謝申し上げます



今日飲めるのは厚生委員会の皆様のおかげです



広報は時間に追われました

でした～ 委員会

療、医療管理、学校歯科、社保、学術、厚生、広報の7つの常任委員会と執行部、それに加えて医道委員会、選挙管理委員会、裁定審議委員会、の3つの特別委員会、さらに本会代表として熊本市の介護認定審査会に出務していただいている先生方、12支部の支部長の先生と一堂に会しての開催となりました。

当日は晴天で会場からの眺めもよく、また、役員の皆様方のご協力により盛会のうちに幕を閉じることができました。

(渡辺猛士専務)



これからもご指導願います



あちこちで話の花が開きます



万感の思いで万歳



会員の為これからも頑張ります



何の相談かな



次の学術講演会はどうしよう



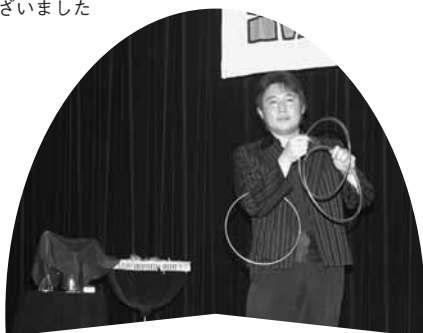
いい顔色になってます

夏だ!! ビア

第37回 熊本市歯



永い間ありがとうございました



You Tubeに投稿して下さい



白黒ですが顔は真っ赤です



第37回熊本市歯科医師会親睦ビアパーティーが例年より少し早めの6月29日(土)PM7:00よりホテルキャッスルにて開催されました。

今回は多くの先生方に参加していただき総勢141名でのパーティーとなりました。

今年は総会も同日に行われ、新役員が選任されました。まず主催者を代表して清村会長より会員の先生方、旧執行部の先生方に無事に退任できたことへの感謝の言葉を述べられました。

また、新任されました執行部15名の先生方には壇上に上がっていただき、宮本格尚新会長へのバトンタッチと役員紹介が行われました。

次に、来賓を代表して浦田健二県歯会長が、一般社団法人へ移行後、初めての総会で決定した新役員の先生方へ祝辞を述べられ、退任されました清村会長、旧役員の先生方へ慰労と感謝の言葉をいただきました。

また、7月21日の参議院選挙に向け、歯科業界の発展のためにも『比例区の石井みどり候補の当選が不可欠だ』とのことで、支援と協力を呼びかけられました。

それから、古賀明前会長による、乾杯の音頭で開宴となりました。また、熊本選挙区から立候補の馬場成志氏が突然来場され、挨拶があり、盛大な拍手となりました。



さあ一何が起こるか!



何故か反省のポーズ

パーティー～

科医師会親睦大会

宴も盛り上がる中、昨年に引き続き今回もプロマジシャン矢野さんをお呼びしまして、前回以上に華麗なマジックパフォーマンスとイリュージョンを披露していただきました。釘づけになって見られていた先生も多くおられたようですが、前回と同様トリックは分からずじまい!! 見事なマジックショーはあっという間に終わり盛大な拍手とともに終了となりました。

また、恒例のお楽しみ抽選会が行われました。今回は清村会長に、カードを引いてもらい当選した先生方のお名前を読み上げていただきました。景品として、こだわりのお酒類、高級肉が並び、当選された先生方には喜んでいただけたかと思えます。大いに盛り上がったところで宴もたけなわとなり、最後に藤波好文副会長の閉会の辞と万歳三唱にてお開きとなりました。

今年は例年にない多くの先生方にご参加いただき、本当にありがとうございました。

また、ホテルキャッスルの会場の都合により開宴直前の開場となり大変ご迷惑をお掛けしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

会員の絆を深めるため、また熊本市歯科医師会を盛り上げていくためにも、とてもよい機会だと思いますので来年もご参加のほどよろしくお願いいたします!!
(厚生 前田邦治)



太っ腹4兄弟?



テヘッ 貰っちゃった



いい笑顔です



とっても幸せそう



獲ったドー! でも忘れて帰った人



もっと撮って!



ちょっと鼻の下が...



スタッフのレベルアップは病院全体のレベルアップ ～スタッフレベルアップセミナー～

6月8日(土)14時30分から、熊本県歯科衛生士学院実習室にて、株式会社GCの歯科衛生士・古谷幸子先生、山根あずさ先生を講師に迎え、スタッフレベルアップセミナーが行われた。毎年この時期に、主に新人歯科衛生士、歯科助手を対象として、印象採得、石膏練和と注入、セメント練和、TBIなどのベーシックな内容について、実習中心に学習するセミナーとなっている。



ベーシックな内容を学習する

宮本格尚医療管理理事の開会の挨拶のあと、35名の参加者が二班に分かれ、①セメント練和実習②アルジネート印象、石膏練和と注入実習③TBI実習を行った。

セメント練和実習では、リン酸亜鉛セメントと合着用グラスアイオノマーセメント、グラスアイオノマー系レジンセメント（充填用）（合着用／接着用）が用いられた。

リン酸亜鉛セメントでは練和時の発熱反応への対応がポイントとなる。粉を分割してガラス練板を広く使って練和することで熱の発生を分散し、ガラス練板と金属性のスパチュラを用いることで発生する熱を吸収し、練和物の温度上昇を防ぐことができる。このようにして発熱に対する対応をきちんとしなければセメントが早く硬化し、物性の低下や被膜厚さが厚くなるなどの問題が起きる。また、グラスアイオノマーセメントでは合着用も充填用も必ずプラスチックスパチュラと紙練板を使用する。これは練和

時にほとんど熱が出ないため、特にガラス練板を使う必要がないのと、ガラス粉末が入っているため金属性のスパチュラを使用するとセメントに色が付くためである。粉液の正確な計量のためにノズルに付着した液は湿ったガーゼで拭き取ること、液は容器を逆さ（垂直）にし、気泡を除いてから容器を軽く押して滴下するなどの配慮が重要である。充填用セメントの練和時には練板を広く使い最初はバタバタと叩き込むような感じでスパチュラを返しながら、最後はしっかりと練和する。指定の練和時間を守り練り込む事でセメントの強度が出る。接着性グラスアイオノマー系レジンセメントの練り方はグラスアイオノマーセメントとあまり変わらない。



二班に分かれ実習を行なう

ただ、柔らかいペースト状になっていて、スパチュラの先端部分だけで簡単に練れてしまうので注意しないと逆に練和不十分になってしまうことがある。練板を広く使い、スパチュラの腹でしっかりと押し広げるようにしっかりと練り込むことで、セメントの本来の性能が初めて発揮されることとなる。受講生は熱心にメモを取り、セメント練和を繰り返し練習していた。

アルジネート印象、石膏練和、注入実習では、トレーの選択、試適、粉／水の計量、練和、トレーへの盛りつけ、印象採得、石膏の計量と練和、脱泡、印象への注入、模型の撤去という一連の流れの中での重要なポイントを解説しながら

ら実習が進められた。

注意点は以下の通り

- ・印象材も石膏も混水比を守ること
- ・粉末は湿気を吸いやすいので計量後はケースの蓋をしっかり閉めること
- ・計量カップで粉をすくったら軽く1回擦り切ること（強く擦り切ったり何度も擦り切ると、粉が圧縮されてしまい固練りになってしまう）
- ・印象採得後は唾液や汚物などを軽く洗い流し、よく水滴をとった後、寸法変化を防ぐためにも印象採得後はできるだけ速やかに石膏を注ぐこと



スタッフの真剣な眼差し

- ・印象材では粉に水を入れるが、石膏では水に粉を入れること。

最後のTBI実習では、プラークを染め出すのではなく、Bの鉛筆で歯面に印をつけ、それを歯ブラシで落とすという実習を行った。正しいブラッシング圧（50～100g 毛先を指の腹に当ててみて指が少し白くなる程度の力）で毛先を当てることができれば、2～3ストロークのブラッシングによって鉛筆でつけた印を落とすことができる。鉛筆だと患者さんが磨くのが苦手な部位に印をつけてそれを落とす練習を何度でも手軽にできるのでそれがこの指導法のメリットである。（なお、鉛筆を口腔内で使用することの安全性は鉛筆メーカーに確認済みとのこと）ブラシを当てる際のポイントは、歯面の形態を考えて、刷面を使い分け（つま先、脇、かかと）、軽い力で落とすことである。指導法のポイントとしては、患者さんが磨きにくくて気にしてい

る部位や、炎症がある部位、手鏡で確認しやすい部位などをポイントで選び、一回で指導する内容をできるだけ絞ることなどである。また、最初は鏡を見ずに磨いてもらって見て、その後鏡を見ながら、落とせなかった部分を磨いてもらい、ブラシのあたる感覚を覚えてもらうというような指導も効果的である。

全実習の終了後、藤波好文副会長から閉会の挨拶があり、一人一人に受講修了証が手渡され約2時間半のセミナーは終了となった。

印象材の計量の仕方からセメントの練和まで、普段何気なく行われがちの部分の質を上げることが治療全体の質を上げることになる。口腔内は細菌や咬合力、唾液などの影響を受ける過酷な条件下にさらされている。材料の特質と操作方法を理解し、術者がきちんとそれを守って使用することで歯科材料の持つ能力を最大限に発揮でき、補綴物や修復物の長期的な予後をより良好なものにしようと考えられる。

一人一人のスタッフのレベルアップは病院全体のレベルアップにもつながり、患者さんに対して質の高い医療の提供につながる。今回のセミナーで勉強したことを反復して練習し、日々の臨床に生かしてほしいと思う。



混水比が大事です

（医療管理 関 喜英）



平成25年度 歯磨き巡回指導（前期）報告

平成25年度歯磨き巡回指導は、今年10校中の前期分が6月4日（火）城北小学校から始まり、6月25日（火）西里小学校までの4校の予定でしたが、6月21日（金）に予定していた武蔵小学校が台風接近のため中止に！いままでにインフルエンザで中止になったことがありましたが、天候でなかったのは初めてです。

それで、「延期ということで7月4日（木）をお願いします」と、1週間ちょっと前に連絡があったので、衛生士会との都合で3年生のみをおこないました。（特別支援学級は指導できませんでした）

当日雨でしたが、授業参観ということで、多くの保護者も参加され教室に入りきれず、廊下にあふれていました。

歯垢染め出し剤で赤くなったところ、特に歯と歯の間（歯間部）、歯と歯肉の間（歯頸部）を保護者の方々に確認できたことは、意義のあるものになったと思います。

皆さん、素直で元気な子ども達ばかりで、歯についての勉強もよくされていました。

むしろ歯にならないことも大事だけれど、よく噛んで食べること、30回噛んで食べて唾液をだすようにと指導してきました。

教室に扇風機が回っているのですが、蒸し暑かったです。

今回ご協力くださいました学校歯科医の先生、並びにご同伴の衛生士さん方、熊本県衛生士会熊本支部の皆様方ありがとうございました。

平成25年度歯磨き巡回指導実施表

4月調査

学校名	実施期日	曜日	実施時間	時 間	3年生 人数	組 数	特別支 援学級	学級名	学校医名
1 城 北 (北区)	6 / 4	火	5 時間目	14:00 ～14:45	90人	3	15人	たんぼぼ	瀬井 知己
2 本 荘 (中央区)	6 / 11	火	5 時間目	14:15 ～15:00	16人	1	6人	なかよし	富田 久之
3 武 蔵 (北区)	6 / 21→ 7 / 4へ 変更	木	5 時間目	14:00 ～14:45	89人	3	11人	あおぞら	友枝 和夫
4 西 里 (北区)	6 / 25	火	5 時間目	14:05 ～14:50	76人	3	6人	なかよし	永松 聖隆

（学校歯科 井手裕二）



よし、磨くぞー



バイキンマン登場



くまモンの子供もやって来た



よく磨けてるかな？



よく噛んで食べるんだよ



きれいになったかな？

***** 広汎型重度慢性歯周炎患者に対する一症例 *****

入佐弘介会員

キーワード：広汎型慢性歯周炎、歯周外科、咬合性外傷

【はじめに】

歯周炎は歯肉縁下プラークにより引き起こされる細菌感染症であり、短い急性期と長い緩解期を繰り返すことにより進行していく疾患である¹⁾。基本的な歯周治療プラークコントロールとスケーリングやルートプレーニングといった機械的な感染源除去を主体に行われる。しかし、歯肉縁下プラーク中の細菌は非常に多様であり、健康な部位と疾患部位ではその構成が異なっていることから、種々の抗菌薬が歯周治療における補助的な療法として用いられてきた。これまでの抗菌薬による治療は全身投与により行う方法、ドラッグデリバリーシステムなどを用いた局所投与、そして両者の併用により行われている。抗菌薬による治療の効果については有効であるという報告もあれば、あまり効果がないという報告²⁾まで様々である。また、近年プラークそのものがバイオフィームであると考えられるようになり、バイオフィーム状態の細菌は抗菌薬に対し抵抗性を示すことも指摘されている。このようなことから歯周治療における抗菌薬による治療は不確実な方法であると考えられがちである。

今回われわれは、広汎型慢性歯周炎および咬合性外傷によって全顎的に高度な歯槽骨欠損が認められた患者に対し、歯周基本治療と抗菌薬物療法を用いて炎症のコントロールおよび咬合のコントロールを行い、良好な結果を得たので報告する。

【症例】

患 者：38歳、女性

初診日：2009年2月5日

主 訴：11・21が痛い（今回で3度目）

現病歴：先日11・21および上下顎両側小白歯部の歯肉腫脹・歯牙の動揺・疼痛を主訴に他歯科医院受診、しかしながら症状改善しないため当院を受診した。

家族歴・既往歴：特記事項なし。

嗜好歴：タバコ10本／day。（喫煙歴20年）

【診査・検査所見】

PCR61.7%、BOP61.1%で、全顎的に発赤を伴う歯肉の腫脹を認めた。歯周精密検査では、全顎的に深い歯周ポケットを認めた（PPD平均5.6mm、7mm32.8%）、また上顎前歯部、下顎左側臼歯部には歯牙の動揺を認めた。エックス線検査では全顎的、特に上下顎前歯部に水平性・垂直性の歯槽骨吸収を認めた。（写真1・2、表1）



写真1

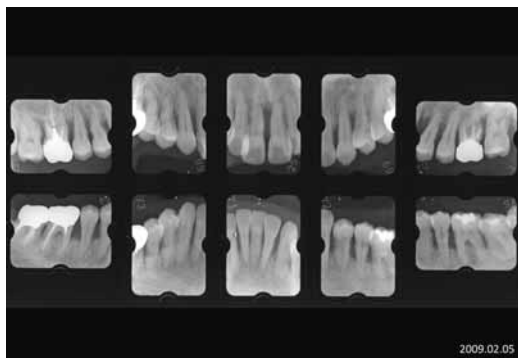


写真2

PCR (Leaky)	動揺度 Miller	部分切除歯数 Lindhe & Nyman	PPD 変動率=動揺度/歯数	歯数	ステージ	記録日							
動揺度	0	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1
部分切除歯数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
PPD	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
PPD平均	5.6mm(180点)												
1-3mm	42 (23.3%)												
4-6mm	79 (43.9%)												
7mm以上	59 (32.8%)												
BOP(+)	110 (81.1%)												
動揺度平均	1.53												
PCR	61.7%												

2009.02.05

表 1

【診断】 広汎型侵襲性歯周炎、咬合性外傷。

【治療計画】

- 1) 歯周基本治療（炎症因子の除去、咬合調整、ナイトガード装着、禁煙指導）
- 2) 再評価
- 3) 歯周外科処置
- 4) 再評価
- 5) SPT



写真 3

PCR														ステージ	基本治療終了時		
動揺度	0	0	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	検査日	2009/04/28
部分切除歯数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	検査数	30回
PPD	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	PPD平均	3.6mm(180点)
1-3mm	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	1-3mm	99 (35.0%)
4-6mm	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	4-6mm	73 (40.6%)
7mm以上	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7mm以上	8 (4.4%)
PPD	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	BOP(+)	48 (35.6%)
1-3mm	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	動揺度平均	1.33
4-6mm	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	PCR	4.2%
7mm以上	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		
部分切除歯数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
動揺度	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1		
PCR																	

2009.04.28

表 2

【治療経過】

2009/02～：歯周基本治療（TBI、SRP、咬合調整、ナイトガード装着、禁煙指導）

2009/04/13：再評価（写真3、表2）

歯周基本治療の間に、数回にわたる上顎前歯部・下顎左側臼歯部・上顎右側臼歯部にPの急性発作を認めたため、その都度のアンピシリン製剤の経口投与・歯周ポケット内洗浄とミノサイクリン軟膏の局所投与にて対処した。

再評価時では、PCR：61.7%→4.2%、BOP（+）：61.1%→25.6%、PPD平均：5.6mm→3.6mm（1-3mmが23.3%→55.0%、4-6mmが43.9%→40.6%、7mm以上が32.8%→4.4%）に改善した。PCRは改善しているもののBOPの改善があまり認められず、Pの急性発作を繰り返していたため、アジスロマイシン500mg/dayを3日間経口投与し、投与後1週間以内に再度SRPを行った。

その後BOPが改善した後に、

2009/05/12：上顎前歯部フラップ手術

2009/06/24：上顎右側臼歯部フラップ手術

2009/10/15：下顎左側臼歯部フラップ手術

2009/12/10：上顎左側臼歯部フラップ手術を施行した。

2010/05/07：再評価では、

PCR：3.3%、BOP（+）：0.6%、PPD平均：2.1mm（1-3mmが97.8%、4-6mmが2.2%、7mm以上が0.0%）と安定していたためSPTへと移行した。（写真4・5、表3）



写真 4

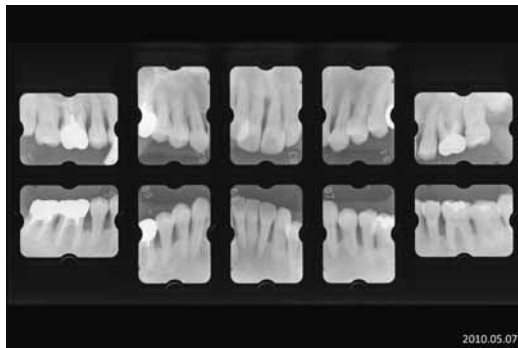


写真 5



写真 7

PCR	0	0	1	1	2	2	2	1	1	1	0	ステージ	SPT移行時
数値度	0	0	1	1	2	2	2	1	1	1	0	検査日	2010/05/07
検分検部歯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	検査数	30歯
PPD	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	PPD平均	2.1mm(180点)
PPD	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1-3mm	178 (97.8%)
検分検部歯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4-6mm	4 (2.2%)
数値度	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7mm以上	0 (0.0%)
PCR	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	BOP(+)	1 (0.8%)
												数値度平均	1.03
												PCR	3.3%

表 3

現在SPT移行後3年経過しているが、PCR：3.3%→3.3%、BOD(+)：0.6%→3.9%、PPD平均：2.1mm→2.3mm(1-3mmが97.8%→95.6%、4-6mmが2.2%→4.4%、7mm以上が0%→0%)とやや悪くなっているものの、定期的なSPTにて対処できる範囲内で落ち着いている。(写真6・7、表4)

【考察・まとめ】

今回の症例は、歯周基本治療後のBOPの改善があまり良くなかった。その為に治療抵抗性

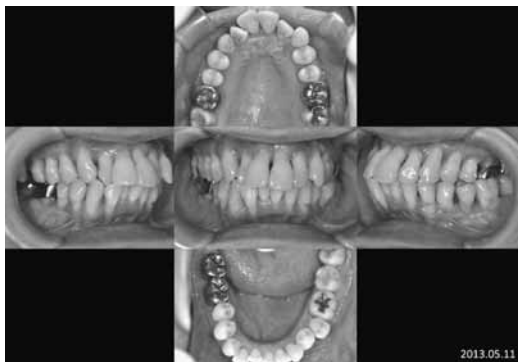


写真 6

PCR	0	0	1	1	0	1	2	2	1	1	0	ステージ	最新SPT時
数値度	0	0	1	1	0	1	2	2	1	1	0	検査日	2013/05/11
検分検部歯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	検査数	30歯
PPD	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	PPD平均	2.3mm(180点)
PPD	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1-3mm	172 (95.6%)
検分検部歯	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4-6mm	8 (4.4%)
数値度	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	7mm以上	0 (0.0%)
PCR	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	BOP(+)	7 (23.3%)
												数値度平均	0.70
												PCR	3.3%

表 4

歯周炎と診断し、抗菌薬物療法の併用を計画した。

抗菌薬としては、①良好な組織移行性、特に感染組織への移行に優れている。②血中濃度半減期および組織内濃度半減期が60～80時間と長い。③歯周組織内の毛細血管から浸潤して組織内に移行し、組織内の歯周病原細菌と歯周ポケット内に浸出した薬剤の効果によってバイオフィルムを破壊している可能性がある。等の特徴があることからアジスロマイシンを選択し、500mg/day・3日間の投与を行った。またSRPの手法として抗菌剤投与+全顎的SRPを1回で行い歯周ポケット内の細菌叢を改善するone-stage full-mouth disinfectionがあるが、今回抗菌剤投与後アジスロマイシンの効果が持続する1週間に再度SRPをすることで同様の効果を期待した。

金子ら³⁾は縁下歯石除去の抗菌薬使用のガイドラインを示す中で、アジスロマイシンが最も適切であると報告している。また表5に「歯周病における経口抗菌薬使用のガイドラインの考

歯周病における経口抗菌薬使用のガイドラインの考え方

- ① 歯周組織炎の適応症である。
- ② 歯周病関連細菌への感受性がある。
- ③ バイオフィルムへの効果がある。
- ④ 歯肉組織移行性が高い。
- ⑤ 短期間投与で生物学的半減期が長い。
- ⑥ 第一選択薬：狭域型抗菌薬
第二選択薬：広域型抗菌薬

表 5

え方」を示しているが、アジスロマイシンはこのポイントをカバーしている。そのために、歯周病にはアジスロマイシンを処方しておけばよいというような考えが一部の歯科医師にみられる。しかしながら抗菌薬の乱用のリスクとして耐性菌の出現のなどもあげられるため症例への慎重な投与が必要と考えられた。また投与のタイミングに関しても様々な意見があるが、限られた症例にだけ使用すると考えると、歯周基本治療を行ったが改善の認められない治療抵抗性

歯周炎に対してのみ抗菌薬物療法を併用するのが良いのではないかと考えられた。

今回、全顎的に歯周組織破壊が進行した症例に対し、咬合調整・ナイトガードによる力のコントロール、禁煙指導、抗菌薬物療法、歯周外科を行うことにより歯槽骨の安定がはかられた。現在SPT移行後3年経過しているが、経過は良好である。しかしながら歯周ポケットの残存も一部あり、今後も慎重な管理が必要であると考えられた。

【参考文献】

- 1) Carranza,F.A.et al:Clinical Periodontolog 8th.337-379 Saunders USA 1996
- 2) Van Winkelhoff,A.J.et al:Systemic antibiotic therapy in Periodontics.Periodontology 2000 1996 10:45-78
- 3) 金子明寛：緑下歯石除去時の抗菌薬ガイドライン．日歯医学会誌，27：25-29.2008

コラム

お勧めのディスク

the new no2 - You Are Here

G. ハリソンの息子が組んだグループです。ギターも声もおやじそっくり、という評を読んで聞かねば、と思ったわけです。

確かにギターも声もその通り。しかしながら、オルタナ・ロックは私の守備範囲とは離れています。

George Benson Inspiration A Tribute to Nat King Cole

ベンソンのナット・コール。なんだいかにも売らんかな、という感じを受けたんですが。

さにあらず、もう4年ほど前からツアーでは、ナット・コールのトリビュートをやっていたそうで、その集大成として出した、というのがほんとのようです。

ナット・コールのようでやっぱりGB のうたになっています。バックに何とW. マルサリスやらT. プレナーとかがいて、ほんの少し聞かせます。

George Shearing, Pedersen, Stewart - The MPS Trio (2007) 4cd

シアリングがドラムレス・トリオでMPSから出していた5枚のLPをまとめてあります。

いやあ、いかに名曲、名演でも4枚となるとさすがに食傷気味です。

ギターもベースもピアノもみな軽くスウィングしながらやっているんですが、さすがに4枚は長い。

休憩しながら（間に他を聞きながら）ききましたが、BGMにはもったいないぞ。

支部会だより

平成25年度北部3支部総会



還暦祝い、医療対策講演会について協議された（横断幕揮毫 中嶋隆志氏）

7月10日（水）19：30より、県歯会館3F市歯会議室にて「平成25年度北部3支部総会」が開催された。

会議は、中嶋隆志支部幹事の司会の下、定刻より開会された。

先ず、谷口守昭支部長の挨拶に始まり、今年は、就任直後の宮本格尚市歯会長を来賓として迎え、ご挨拶を賜った。

宮本会長からは、今後の熊本市歯科医師会運営の方針や抱負が語られ、支部にも協力の要請がなされた。

会議はその後、支部長より会務報告、勇 雅大支部会計より会計報告、河上 正支部監事より監査報告がなされ、その後議事に入り、第1号議案（平成24年度会計決算の承認を求める件）、第2号議案（支部新役員（案）の承認を求める

件）、第3号議案（平成25年度事業計画（案）の承認を求める件）まで全ての議案が承認された。

更に、協議に入り、1. 還暦祝いについて（本年度対象者4名）、2. 社保講演会・医療対策講演会について（本年度は医療対策講演会を開催することに決定）協議された。

最後に、「石井みどり先生」の後援について、県歯科医師連盟の牧 正仁先生より参議員選挙の注意事項等の説明があり、当支部で結成された5人組の活用等の要請があった。

その後、場所を「青柳」に移して、懇親会が開催された。宮本会長も参加され、大いに盛り上がり、支部会員の親睦も深まり有意義な1日となった。

（北部3支部 谷口守昭）

委員会紹介

社会保険委員会



- ①氏名
- ②開業場所・開業年数
- ③家族構成

- ④最近感動したこと、憤慨したこと
- ⑤趣味、特技、私のこだわり、など
- ⑥委員会に所属しての感想



- ①渡辺 洋
- ②熊本市東区花立3丁目
開業19年です。
- ③嫁1（怖）
長男 大1
長女 高1
次女 中2
犬1（ビーグル）
- ④感動したこと
子供のころ憧れていたバイクを買いました
憤慨したこと
飼い犬に手をかまれました
- ⑤ゴルフ、野球、走ること、読書、オートバイ
唐辛子栽培、辛い物試食
ビールや焼酎や日本酒なんかを飲む！
- ⑥増点、増患!!
次世代が育ってきておりますので、スムーズな移行！



- ① **金本 良久**
- ② 中央区新大江2-9-1
17年（平成8年6月開業）
- ③ 妻 48才
長女 19才（看護専攻科2年）
次女 16才（高1）
長男 13才（中2）
- ④ 娘2人の成長と、息子の空手&陸上での活躍に感嘆！
- ⑤ バドミントンとランニングが趣味…日々トレーニング！
- ⑥ 正しい情報を発信しつつ、会員のために本当に役に立つような活動を心掛けていきます！



- ① **井口 泰治**
- ② 東区若葉に20年
- ③ 妻、長女（19歳）、次女（17歳）、長男（10歳）
- ④ 無責任な政治をなんとかしてもらいたい。
- ⑤ 野球、ゴルフ
- ⑥ 長年お世話になっているので、少しはお役に立ちたいと思っています。



- ① **栗原 健一**
- ② 中央区新町で7年
- ③ 妻、子供3人
- ④ 感動したこと：テレビの「情熱大陸」を見て感動しました。
憤慨したこと：ありません。
- ⑤ 県立体育館のトレーニング室に週2～3回通っています。
ゴルフもマラソンも挫折しましたが、唯一継続しています。
- ⑥ 4期目になります。個別指導、レセプトの返戻、保険請求等について、会員の先生方の疑問に答えられるよう努力します。



①西山 挙規

②北区高平で開業7年目

③妻、娘一人、母親

④感動した事：3才になる娘がジャングルジムに登れるようになった事

憤慨した事：いまだに放射能汚染水が漏れ続けている事

⑤趣味は釣りです。

こだわりは、どんなに暑くても歩いて通勤しています。

⑥カルテ・レセプト請求に関して、どんな質問にも答えられるようになりたいと思います。



①福田 勇人

②富合町で2年

③父、母、妹、弟

④引きこもり気味だった弟が無事、就職できたこと。

⑤卓球、釣り

⑥委員会の先輩方の足をひっぱらないよう、また、会員の先生方のお役に立てるよう勉強し、頑張っていきたいです。

地域保健委員会



① **井野 健**

② 熊本市中央区出水 6 丁目20-1

開業13年

③ 妻 綾子 36歳

長男 悠生 6歳

④ 母校の高校のハンドボールが33年ぶりに高校総体で優勝したこと。

尖閣諸島の領海侵犯、領空侵犯、には憤慨します。日本政府の断固たる対応を望みます。

⑤ 趣味は野球、釣り、特技はどこでも寝れること。

こだわりはあまりないですが、酒を飲むときは、その酒に合ったつまみ、肴がいいですね。

⑥ 新入委員が3名入っていただきました。ありがとうございます。

楽しみながら活動できれば幸いです。



① 後藤 俊秀

② 開業場所：楠団地

開業年数：今の場所で8年目になります。父と仕事をしています。

③ 妻、子供2人（小学生）

④ 感動したこと：スタッフの患者さんに対する気配りが良かったこと。

憤慨したこと：親が子供を虐待したというニュースが流れること。

⑤ 趣味：釣り（磯釣り）

こだわり：スマホでなく、まだガラケーです（笑）こだわりではないかもしれませんが天邪鬼で世間の流れに乗っていません。

⑥ 3期目になります。

1つ1つの仕事を頑張ります。



① 磯野 誠一

② 熊本市東区月出2丁目、開業3年

③ 妻、娘（中1）、息子（小4）の4人家族

④ 子供の成長（部活）：娘の吹奏楽、息子のサッカー。

⑤ 仕事帰りのジムとサウナ。ラジヘリ。

⑥ 今回2期目ですが、やっと仕事が少しみてきた気がします。

大人の部活動として楽しみたいと思っています。



① 山部耕一郎

② 熊本市中央区上通町4-18 第3井上ビル3階「やまべ矯正歯科クリニック」

開業年数：22年目

③ 妻（歯科医）・長男・次男

④ 感動したこと：ありそうで、ありません

憤慨したこと：向上しない自分

⑤ オーディオ、ホームシアター、パソコン、酒、ドライブ…と、イン・ドアでおっさんの趣味ばかりなので、最近はお休みの日に、汗をかくために温泉施設に潜伏しております。

それもやっぱりイン・ドア??

⑥ 足かけ20年くらい在籍していますが、この委員会は、周りが思っているほど意外と負担にならず、やり甲斐のあるところ。アイディアだけはまだ提供できそうなので、もう一期続けることになってしまいました。よろしく願いいたします。



① **椿 賢**

② 熊本市西区上代に7年

③ 妻、長男（1歳7ヶ月）、マルチーズ

④ 感動したこと：長男が少しずつ言葉を喋ろうとしていること。

憤慨したこと：非常な偏屈な患者さんを相手にしたときに、診療後に憤慨しました。

⑤ スポーツ観戦や野球部での活動

⑥ 井野理事を支え、今まで以上に楽しく、しっかり仕事もできる委員会にしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



① **太田 文隆**

② 帯山、2年3ヵ月。

③ 5人（妻、息子2人、娘1人）

④ いつも感動していることは、患者さんも含め、子供達の日々の成長。

⑤ 体を動かすこと、剣道。

⑥ 少しずつ多方面への関わりを広げ、地域医療に貢献していきたい。



① **矢毛石 玲**

② 熊本市北区

開業年数：3年

③ 妻、長女、長男の4人家族

④ 子供達の成長に日々感動しています。

⑤ サーフィン、スノーボード、キャンプ

⑥ まだ何も分かりませんが、自分に出来ることを頑張りたいと思います。



① **坂元彦太郎**

② 東区下江津で4年目になります。

③ 妻、娘

④ 感動したこと：やがて3歳になる娘が毎朝、私の着替えを手伝ってくれること。

⑤ 下手なりにゴルフを練習中です。

⑥ 右も左もわかりませんので、委員会の諸先輩方のご指導を仰ぎ、邪魔しないように精一杯頑張ります。

新人です！よろしくお願いします

新 入 会 員 紹 介



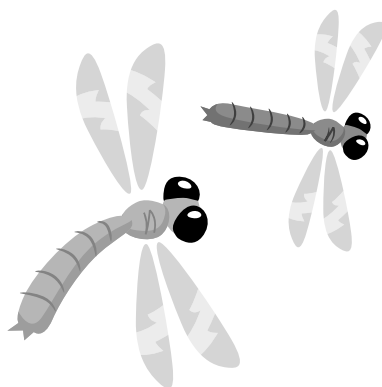
氏 名 関 勝宏
 診療所名 せきかつひろ歯科口腔クリニック
 (診療所) 〒862-0968
 熊本市南区馬渡2丁目1-1
 電話／096-377-1188 FAX／096-377-1180
 生年月日 昭和50年6月7日
 趣 味 ゴルフ・大鯛釣り・子育て・サッカー
 好きな言葉 一日一善以上
 経 歴 真和高等学校 卒業
 九州大学歯学部 入学
 九州大学歯学部 卒業
 九州大学大学院歯学府 口腔顎顔面病態学講座 入学
 九州大学大学院歯学府 口腔顎顔面病態学講座 卒業
 九州大学病院顔面口腔外科 勤務
 公立学校共済組合九州中央病院歯科口腔外科 勤務
 九州大学病院再生歯科・インプラントセンター 勤務
 日本口腔外科学会認定口腔外科専門医取得
 せきかつひろ歯科口腔クリニック開業



氏 名 町田由美子
 診療所名 ゆみこ歯科クリニック
 (診療所) 〒861-5287
 熊本市西区小島4-4-16
 電話／096-319-4181 FAX／096-319-4187
 生年月日 昭和42年7月26日
 趣 味 ガーデニング・読書
 好きな言葉
 経 歴 鹿児島県立鶴丸高等学校 卒業
 鹿児島大学 入学
 鹿児島大学 卒業
 恵福歯科 勤務
 壺川歯科 勤務
 藤井歯科 勤務
 鹿児島大学第2補綴科 勤務
 (医) 友志会 勤務
 ゆみこ歯科クリニック開業



氏 名 津田 寿子
診療所名 医) 社団小堀会 新屋敷津田歯科医院
(診療所) 〒862-0975
熊本市中央区新屋敷1-21-10
電話／096-371-8010 FAX／096-371-8050
生年月日 昭和25年 3 月17日
趣 味 読書・ゴルフ
好きな言葉 楽しく感謝
経 歴 熊本県立第一高等学校 卒業
東京歯科大学 入学
東京歯科大学 卒業
東京歯科大学保存学教室 勤務
小堀歯科医院 勤務
医療法人社団小堀会 津田歯科医院へ名称変更
医療法人社団小堀会 新屋敷津田歯科医院へ名称変更
現在に至る



ゴルフ川柳

中央支部
秋山 清

若い頃 叩いた数だけ 寄せ上手

(注) 熟練技には地道な努力の積み重ねがあるよねー



還暦で 赤いポロシャツ 勢ぞろい

(注) 昨年の県歯コンペでの様子でした



仕事もし ゴルフもできる 古希祝い

(注) 理想の健康人生、私もこうありたいよ



松山の 姓を名乗れば 70台

(注) 「松山 清」で、次回は回ろうかなー



前日の 深酒やめて 好スコア

(注) 体調管理は人生の基本ですよ



「心技体」若い頃には「体技心」

(注) スポーツはメンタル。心の成長には年月を要しますね





スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

H25年 6 月 9 日 (日)			13名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	関	剛一	46	50	96	24	72
2 位	田村	実雄	49	45	94	22	72
3 位	本田	治夫	49	52	101	28	73
4 位	古賀	明	49	42	91	18	73
5 位	樋口	博一	44	47	91	17	74
B.B.	寺島	美史	66	61	127	37	90

H25年 7 月 7 日 (日)			14名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	合澤	康生	50	43	93	20	73
2 位	関	剛一	48	51	99	24	75
3 位	浜坂浩一郎		52	51	103	28	75
4 位	本田	治夫	53	50	103	28	75
5 位	樋口	博一	50	43	93	17	76
B.B.	山室	紀雄	57	48	105	18	87

熊本デンタルゴルフ会

H25年 8 月 18 日 (日)			14名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	浜坂浩一郎		45	46	91	28	63
2 位	関	剛一	45	48	93	24	69
3 位	奈良	健一	40	44	84	12	72
4 位	合澤	康生	50	45	95	20	75
5 位	本田	治夫	54	51	105	28	77
B.B.	山室	紀雄	58	50	108	18	90

H25年 6 月 23 日 (日)			9 名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	工藤	隆弘	46	46	92	21	70
2 位	千場	正昭	50	53	103	25	77
3 位	三苦	司	44	45	89	11	77
4 位	木田	亘	49	54	103	24	78
5 位	内田	隆	51	51	102	23	78
B.B.	元島	博信	48	47	95	15	80

＜ボウリング部 女性マネージャー並びに部員 大募集＞

県歯ボウリング部で活動している市歯会員は、現在 7 名です。奥田良樹、西銘達生、新名正明、井尾治雄、河野宏和、勇雅大、秋山清（成績順不同）

九地連大会で好成績を収めるため、合同練習や遠征試合に参加して頑張っています。

先日開催された、河野先生と秋山の入部歓迎会で露呈したこと…ボウリングを始めた動機が皆、不純であること。…「じえじえじえ」

なのに我が部は「華」がなく、なかなかモチベーションが上がりません。

そこで今回、ボウリング部は「自称可愛いマネージャー」およびこれから健康と美容のためにボウリングを始めてみたい「自称Pリーガー」を募集いたします。

女性会員の先生、そして貴院の衛生士さん、助手さんへ、是非呼びかけをお願いします。

詳細は、秋山歯科クリニック 096-352-5454 まで連絡してください。

（秋山 清会員）

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5月24日	会務・会計・庶務報告
6月11日	会務・会計・庶務報告
7月22日	会務・会計・庶務報告

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5月30日	歯磨き巡回指導前期打合せ 熊本市学校保健会理事会報告 政令指定都市学校保健協議会前日歯科協議会報告 第64回政令指定都市学校保健会報告
6月19日	熊本市学校保健研修会 市合同委員会 総会 歯磨き巡回指導前期途中報告 市学校保健合同研修会
7月25日	石井みどり支援者名簿の作成 歯磨き巡回指導後期担当 小学校フッ化物洗口モデル事業 九州厚生局集団指導 健康フェスティバル 第77回学校歯科保健研究会

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5月23日	スタッフレベルアップセミナー 合同委員会 選挙
6月5日	3月4月の医療相談
6月8日	スタッフレベルアップセミナー
6月20日	今年度のまとめ 三歯会について 来期の計画について
7月24日	写真撮影・委嘱状渡し 国立病院との連絡会についての報告 開放型病院連絡会 医歯連携セミナー 三歯会 医療管理OB会
7月25日	健康フェスティバルの応援要請 6月7月の医療相談

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月22日 5 月30日 6 月17日	2013歯の祭典について フォトコンテスト表彰について 歯の祭典の集計作業 合同委員会について 健康フェスティバルについて
6 月21日 7 月18日	歯の祭典 反省会 新入会員の自己紹介

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月29日 6 月 5 日 6 月24日 7 月11日	新任の指導医療官の個別指導について 共同指導について 個別指導に係るその他の資料の作製 共同指導対策について 今期の活動計画について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月13日 5 月24日 5 月29日 6 月20日 7 月26日	中岳第161号レイアウト 中岳第161号 第1稿校正 かわら版6月号 編集 中岳第161号 第2稿校正 かわら版7月号 編集 中岳第162号 目次決め

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月17日 6 月 7 日 6 月21日 7 月10日	ビアパーティー打合せ ビアパーティー打合せ ビアパーティー最終打合せ ビアパーティー反省会

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月14日 5 月18日 7 月 9 日	有病者歯科治療ガイドブックについて 藤田先生講演会について 学術講演会 学術講演会の打ち合わせ

編 集 後 記

今回初めて市の広報委員会を担当します。過去に県の広報を6年やったことがあります。ハードもソフトも私自身、時代から取り残されている気がします。しかし広報の基本は同じだと思いますので、委員の皆さんの力を借り、発信力のある紙面作りに努めていきたいと思っています。(N. O)

6月より、広報委員会は新しい理事や委員を迎え新体制になりました。私事ながら広報委員は5期目を迎えていますが、まだまだ文章力、編集力の未熟さを痛感しているところです。微力ではありますが会員に向けて、愛着の出るような広報誌を作っていけたらいいなと思っています。(Y. O)

気がつけば広報委員も10年目の足音が。最近老眼がひどくなってきて、小さい文字の読み書きが辛いっす。広報に入りたての頃は、こんなではなかったのに…。(M. A)

早いもので委員会も3期目をむかえることになりました。若い先生に道を譲ろうと思いましたが、なぜか留任してしまいました。微力ではありますが、残ったからには精一杯がんばろうと思いますので、よろしくお願い致します。(S. I)

早いもので広報委員会に席を置き三期目になります。過去の二期を振り返ってみますと周りの委員の先生方にも恵まれ有意義な時間を過ごせました。今期は委員のメンバーの変更もありますので、新しい気持ちで業務に取り組んでいこうと思います。(N. H)

2期目となりますがまだまだ要領を掴めず、委員会のメンバーに迷惑かけてばかりですが、会員の皆様にとって実になる情報、興味のそそるようなレイアウト、会員同士の交流の助けとなり、より絆を深めれる内容を提供できるように、微力ながら尽力していく所存です。(M. T)

熊本市歯科医師会に入会して早々、広報委員会に参加させて頂くことになりました。初めての事ばかりでなかなか仕事も要領がつかめませんが、委員会活動を通じて会員の先生方のお役に立てるよう、また自分も成長できるようがんばろうと思います。(D. S)

熊本市歯科医師会会誌

第 162 号

発行日 平成25年 9 月15日発行
発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会
熊本市中央区坪井 2 丁目 4 番15号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (3 4 3) 6 6 6 9
FAX (3 4 4) 9 7 7 8
発 行 宮 本 格 尚
責任者
印刷所 コロニー印刷
熊本市西区二本木 3 丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294